


偉人の顕彰に関するアンケート
結果報告書
【全体版】




令和8年6月

岡山市議会

目次

I. 調査実施の概要	1
II. 調査結果	4
1. 偉人顕彰への意識.....	5
1-1. 企画展来場意向.....	5
1-2. 偉人顕彰必要度.....	6
2. 偉人に対する認識.....	7
2-1. 政治・社会分野の偉人認知度.....	7
2-2. 産業・社会開発分野の偉人認知度.....	10
2-3. 学問・教育・社会福祉分野の偉人認知度.....	13
2-4. 文学・文化・芸術・芸能分野の偉人認知度.....	16
2-5. スポーツ分野の偉人認知度.....	19
2-6. 認知度ランキング.....	22
2-7. 例示4 1人の人物紹介と偉人への思い.....	24
2-8. 例示4 1人以外で偉人と思われる人物.....	31
III. 調査票	42

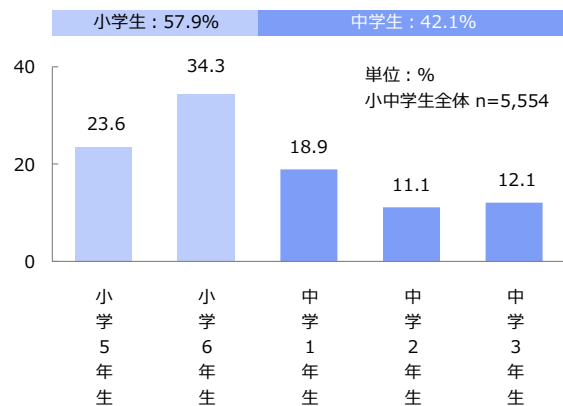
I . 調査実施の概要



1.調査目的	岡山市にゆかりのある偉人の功績を再評価し、文化資源としていかに取り組みの資料とする。
2.調査対象者	<p>小学校5年生以上の男女</p> <p>【小中学生】 小学5年生・小学6年生・中学1年生・中学2年生・中学3年生</p> <p>【一般】 高校生以上</p>
3.調査方法	<p>自記式アンケート法</p> <p>【小中学生】 市立小学校・中学校・義務教育学校を通じて、インターネット上のアンケートフォームにアクセスする二次元コードが印字された調査案内を配布し、回答いただいた。</p> <p>【一般】 インターネット上のアンケートフォームにアクセスする二次元コードが表示された調査案内を以下のメディア・紙面に掲載し、回答いただいた。</p> <p style="padding-left: 40px;">岡山市ホームページ / 岡山市議会ホームページ / 岡山市公式LINE / 岡山市X 市民のひろばおかやま / おかやま市議会だより</p> <p>また岡山市内の公民館（37施設）にアンケート用紙を設置して、公民館利用者にも回答いただいた。</p>
4.回答件数と構成	<p>合計6,372件</p> <p>【小中学生】 5,554件（すべてインターネット回答）</p> <p>【一般】 818件（インターネット回答：717件 + アンケート用紙回答：101件）</p>
5.調査内容	<p>巻末「Ⅲ. 調査票」参照</p> <p>例示41人の選定基準： 西暦1700年以降の岡山市ゆかりの故人（岡山市名誉市民10人を含む）で、構成は【政治・社会】【産業・社会開発分野】【学問・教育・社会福祉】【文学・文化・芸術・芸能】【スポーツ】分野の中から、歴史・文化をいかしたまちづくり調査特別委員会において決定した人物</p>
6.調査実施期間	令和8年2月20日（金）～3月20日（金）

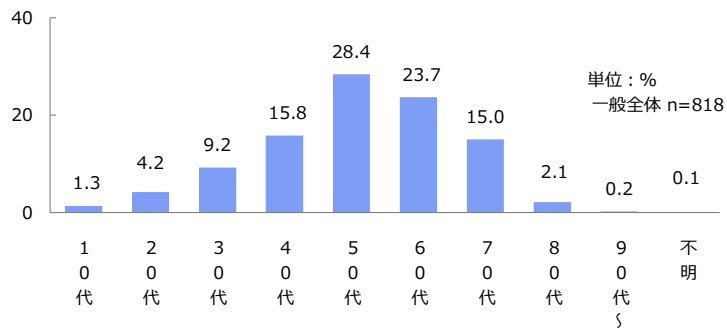
7.回答者属性

【小中学生】

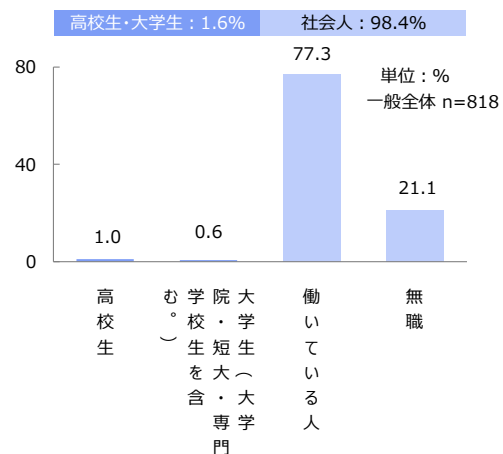


【一般】

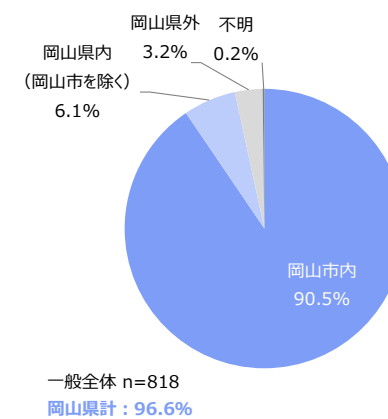
①年代




②職業



③居住地



II. 調查結果



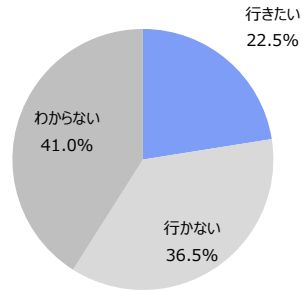
1. 偉人顕彰への意識

1-1. 企画展来場意向

岡山市ゆかりの偉人を展示する企画展などがあれば行ってみたいですか。(単一回答 / 【小中学生】質問5 / 【一般】質問7)

【小中学生】

- 岡山市ゆかりの偉人を展示する企画展などについて、「行きたい」と来場意向を示したのは22.5%で、「行かない」は36.5%、「わからない」は41.0%である。
- 中学2年生は、「行かない」が48.1%と半数近くに迫っている。



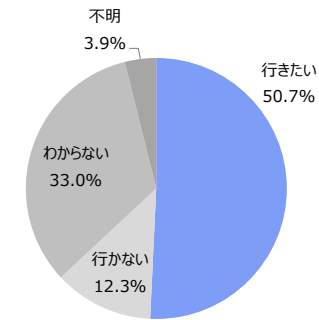
小中学生全体 n=5,554

		(n)	行きたい	行かない	わからない
小中学生全体		5,554	22.5	36.5	41.0
学年別	小学生	3,216	25.9	32.8	41.4
	5年生	1,309	24.9	31.2	43.9
	6年生	1,907	26.5	33.9	39.6
	中学生	2,338	17.9	41.5	40.6
	1年生	1,049	20.2	37.1	42.7
	2年生	618	14.4	48.1	37.5
	3年生	671	17.4	42.5	40.1

※ ■ は全体より10ポイント以上、■ は全体より5ポイント以上高い 単位：%

【一般】

- 岡山市ゆかりの偉人を展示する企画展などについて、「行きたい」としたのは50.7%で、小中学生に比べると来場意向が30ポイント近く高い。「行かない」は12.3%、「わからない」は33.0%である。
- 60代や岡山市外居住者は60%以上が来場意向を示している。一方で、30代以下は30%前後が「行かない」としている。



一般全体 n=818

		(n)	行きたい	行かない	わからない	不明
一般全体		818	50.7	12.3	33.0	3.9
年代別	20代以下	45	35.6	28.9	33.3	2.2
	30代	75	34.7	33.3	30.7	1.3
	40代	129	50.4	15.5	32.6	1.6
	50代	232	46.6	9.9	40.9	2.6
	60代	194	61.9	5.2	27.8	5.2
	70代以上	142	55.6	7.0	28.9	8.5
	職業別	高校生・大学生	13	46.2	15.4	30.8
社会人		805	50.8	12.3	33.0	3.9
有職		632	49.8	13.3	33.5	3.3
	無職	173	54.3	8.7	31.2	5.8
居住地別	岡山県内	790	50.4	12.5	33.3	3.8
	岡山市内	740	49.5	12.6	33.9	4.1
	岡山市外	50	64.0	12.0	24.0	-
	岡山県外	26	65.4	7.7	26.9	-

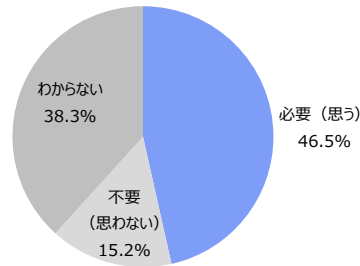
※ ■ は全体より10ポイント以上、■ は全体より5ポイント以上高い 単位：%

1-2. 偉人顕彰必要度

岡山市ゆかりの偉人を顕彰する必要があると思いますか。(単一回答 / 【小中学生】質問6 / 【一般】質問8)

【小中学生】

- 岡山市ゆかりの偉人の顕彰を46.5%が必要と考えており、不要は15.2%にとどまっている。「わからない」は38.3%である。
- 企画展来場意向層は70%以上が必要と考えている。企画展来場非意向層は、不要と考える割合が32.0%と他の層より高いが、32.1%は顕彰が必要と考えている。



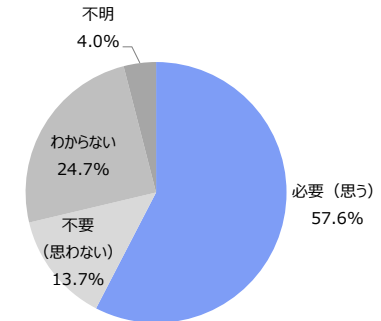
小中学生全体 n=5,554

		(n)	必要(思う)	不要(思わない)	わからない
小中学生全体		5,554	46.5	15.2	38.3
学年別	小学生	3,216	47.6	13.4	39.0
	5年生	1,309	46.5	13.8	39.7
	6年生	1,907	48.4	13.2	38.4
	中学生	2,338	45.0	17.8	37.3
	1年生	1,049	44.5	16.3	39.2
	2年生	618	42.1	18.9	39.0
	3年生	671	48.3	18.9	32.8
企画展来場意向別	意向あり	1,250	72.5	5.5	22.0
	意向なし	2,025	32.1	32.0	35.8
	未判断(わからない)	2,279	45.0	5.6	49.4

※ ■ は全体より10ポイント以上、■ は全体より5ポイント以上高い 単位：%

【一般】

- 岡山市ゆかりの偉人の顕彰を必要としたのは57.6%で、小中学生に比べると10ポイント程度高い。
- 岡山市外居住者や企画展来場意向層は70%以上が必要と考えている。一方で、30代や企画展来場非意向層は、不要と考える割合が他の層に比べて高い。



一般全体 n=818

		(n)	必要(思う)	不要(思わない)	わからない	不明
一般全体		818	57.6	13.7	24.7	4.0
年代別	20代以下	45	51.1	20.0	26.7	2.2
	30代	75	50.7	28.0	20.0	1.3
	40代	129	62.8	17.1	18.6	1.6
	50代	232	54.7	11.2	31.5	2.6
	60代	194	60.8	10.3	23.7	5.2
	70代以上	142	59.2	9.9	21.8	9.2
	高校生・大学生	13	76.9	-	15.4	7.7
職業別	社会人	805	57.3	13.9	24.8	4.0
	有職	632	57.4	14.9	24.2	3.5
	無職	173	56.6	10.4	27.2	5.8
居住地別	岡山県内	790	57.1	13.8	25.2	3.9
	岡山市内	740	56.1	14.1	25.7	4.2
	岡山市外	50	72.0	10.0	18.0	-
	岡山県外	26	76.9	11.5	11.5	-
企画展来場意向別	意向あり	415	78.6	6.3	15.2	-
	意向なし	101	17.8	57.4	24.8	-
	未判断(わからない)	270	47.0	10.4	42.2	0.4

※ ■ は全体より10ポイント以上、■ は全体より5ポイント以上高い 単位：%

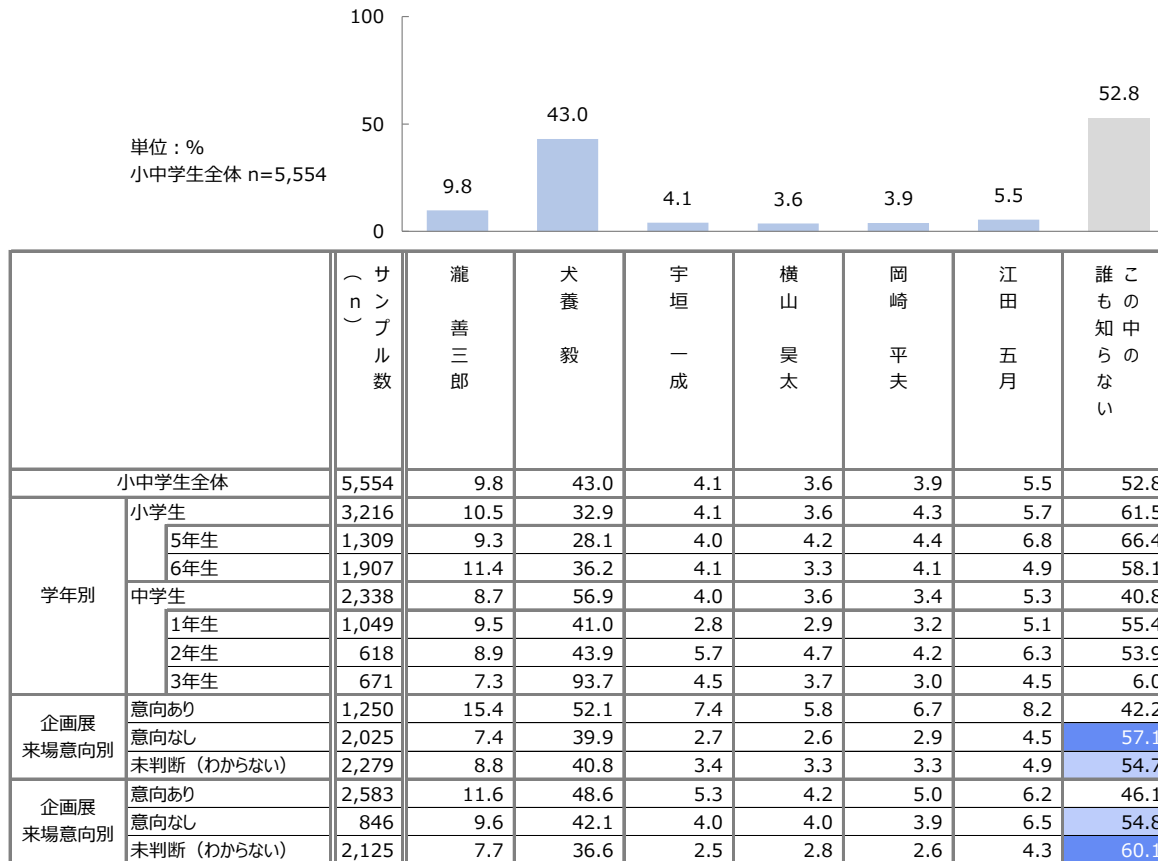
2. 偉人に対する認識

2-1. 政治・社会分野の偉人認知度

岡山市にゆかりのある偉人を、下記のとおり例をあげて紹介しています。あなたの知っている人を選んでください。

(複数回答 / 【小中学生】質問2 / 【一般】質問4)

【小中学生】



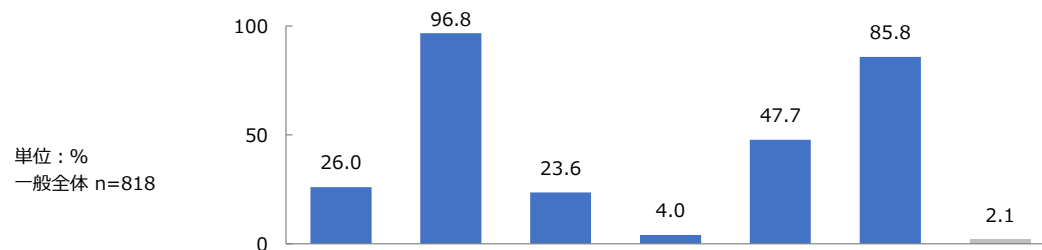
		(サンプル数)	瀧善三郎	犬養毅	宇垣一成	横山 昊太	岡崎 平夫	江田 五月	誰とも知らない
小中学生全体		5,554	9.8	43.0	4.1	3.6	3.9	5.5	52.8
学年別	小学生	3,216	10.5	32.9	4.1	3.6	4.3	5.7	61.5
	5年生	1,309	9.3	28.1	4.0	4.2	4.4	6.8	66.4
	6年生	1,907	11.4	36.2	4.1	3.3	4.1	4.9	58.1
	中学生	2,338	8.7	56.9	4.0	3.6	3.4	5.3	40.8
	1年生	1,049	9.5	41.0	2.8	2.9	3.2	5.1	55.4
	2年生	618	8.9	43.9	5.7	4.7	4.2	6.3	53.9
	3年生	671	7.3	93.7	4.5	3.7	3.0	4.5	6.0
企画展 来場意向別	意向あり	1,250	15.4	52.1	7.4	5.8	6.7	8.2	42.2
	意向なし	2,025	7.4	39.9	2.7	2.6	2.9	4.5	57.1
	未判断 (わからない)	2,279	8.8	40.8	3.4	3.3	3.3	4.9	54.7
企画展 来場意向別	意向あり	2,583	11.6	48.6	5.3	4.2	5.0	6.2	46.1
	意向なし	846	9.6	42.1	4.0	4.0	3.9	6.5	54.8
	未判断 (わからない)	2,125	7.7	36.6	2.5	2.8	2.6	4.3	60.1

※ ■ は全体より10ポイント以上、■ は全体より5ポイント以上高い

単位：%

- 政治・社会分野の偉人の認知度では、「犬養 毅」の認知率が43.0%と最も高い。その他の偉人については、いずれも認知度が10%を下回っている。また52.8%がいずれの偉人も認知していない。

【一般】



- 小中学生同様「犬養 毅」が96.8%で最も高い。これに「江田 五月（85.8%）」が続いている。「岡崎 平夫」の認知度は47.7%、「瀧 善三郎」は26.0%、「宇垣 一成」は23.6%、「横山 昊太」は4.0%である。
- 60代では「岡崎 平夫」、70代以上では「岡崎 平夫」「宇垣 一成」の認知度が他の層に比べて高い。

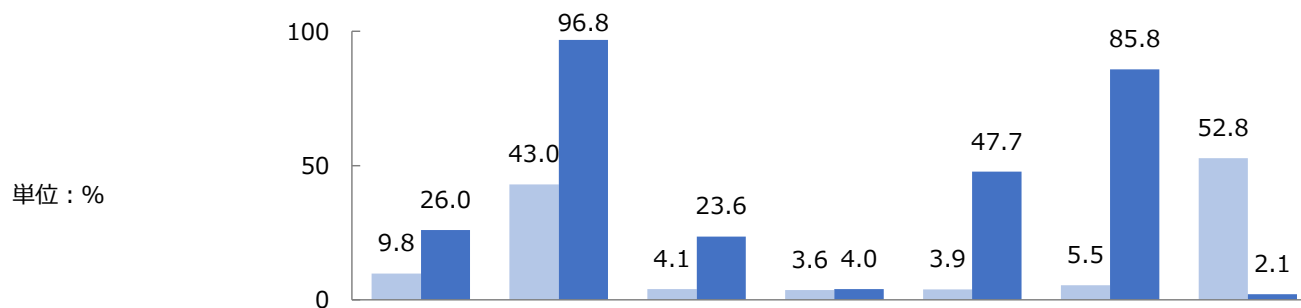
		(n)	瀧善三郎	犬養毅	宇垣一成	横山昊太	岡崎平夫	江田五月	誰の中らない
一般全体		818	26.0	96.8	23.6	4.0	47.7	85.8	2.1
年代別	20代以下	45	24.4	95.6	22.2	-	4.4	35.6	2.2
	30代	75	16.0	96.0	9.3	-	13.3	57.3	4.0
	40代	129	22.5	99.2	14.0	2.3	19.4	93.8	-
	50代	232	25.9	96.6	21.6	3.4	48.3	92.2	1.3
	60代	194	33.0	96.4	30.4	5.7	63.4	92.3	3.1
	70代以上	142	25.4	96.5	34.5	7.7	82.4	90.1	2.8
職業別	高校生・大学生	13	30.8	100.0	23.1	-	-	23.1	-
	社会人	805	26.0	96.8	23.6	4.1	48.4	86.8	2.1
	有職	632	26.4	97.0	22.2	3.5	42.6	86.2	1.7
	無職	173	24.3	96.0	28.9	6.4	69.9	89.0	3.5
居住地別	岡山県内	790	25.8	97.0	23.5	4.1	48.4	86.3	2.0
	岡山市内	740	25.9	96.9	23.9	4.1	48.5	86.5	2.2
	岡山市外	50	24.0	98.0	18.0	4.0	46.0	84.0	-
	岡山県外	26	30.8	92.3	26.9	3.8	23.1	69.2	3.8
企画展 来場意向別	意向あり	415	36.1	97.8	32.3	5.5	55.7	90.4	0.7
	意向なし	101	9.9	94.1	12.9	-	26.7	70.3	4.0
	未判断（わからない）	270	17.4	97.0	16.7	3.3	41.5	85.9	2.6
企画展 来場意向別	意向あり	471	31.0	98.3	27.8	4.9	52.7	89.2	0.6
	意向なし	112	16.1	93.8	24.1	2.7	28.6	78.6	4.5
	未判断（わからない）	202	21.3	96.0	16.8	3.0	44.6	83.7	3.0

※ ■ は全体より10ポイント以上、■ は全体より5ポイント以上高い

単位：%

■小中学生・一般の比較

- 政治・社会分野の偉人の認知度を小中学生と一般で比較すると、いずれの偉人も小中学生の方が低く、「江田 五月」の認知度は80.3ポイント、「犬養 毅」は53.8ポイント、「岡崎 平夫」は43.8ポイントもの差がついている。「宇垣 一成」や「瀧 善三郎」も10ポイント以上の差がみられる。



	(サンプル数)	瀧善三郎	犬養毅	宇垣一成	横山 昊太	岡崎 平夫	江田 五月	誰この知らない
小中学生全体	5,554	9.8	43.0	4.1	3.6	3.9	5.5	52.8
一般全体	818	26.0	96.8	23.6	4.0	47.7	85.8	2.1

単位：%

差異 (小中学生 - 一般)	-	-16.2	-53.8	-19.5	-0.4	-43.8	-80.3	50.7
----------------	---	-------	-------	-------	------	-------	-------	------

※紺字は小学生が一般より30ポイント以上低く、青地は10ポイント以上低い

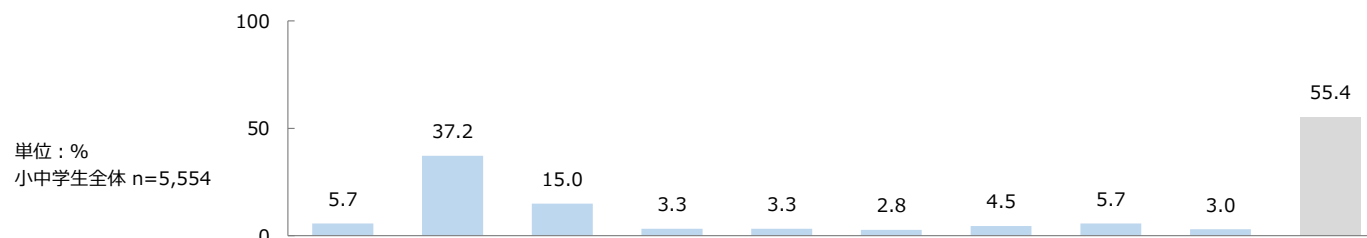
単位：ポイント

2-2. 産業・社会開発分野の偉人認知度

岡山市にゆかりのある偉人を、下記のとおり例をあげて紹介しています。あなたの知っている人を選んでください。

(複数回答 / 【小中学生】質問2 / 【一般】質問4)

【小中学生】



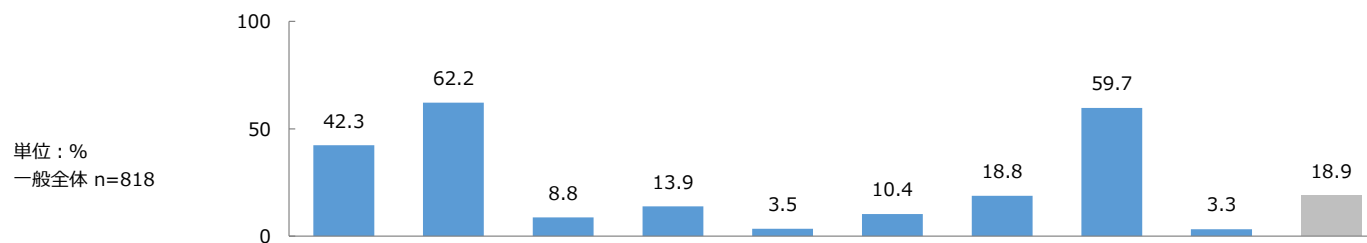
- 産業・社会開発分野の偉人の認知度では、「藤田 傳三郎」の認知度が最も高く、37.2%である。次点は「ローウェンホルスト・ムルデル」の15.0%で、その他の偉人の認知度は10%を下回っている。また、いずれの偉人も認知していない児童・生徒が55.4%を占めている。

		(サンプル数)	浮田 幸吉	藤田 傳三郎	スロト・ウムデル	山羽 虎夫	谷口 久吉	守分 十	松田 壮三郎	土光 敏夫	相賀 武夫	誰のもの知らない
小中学生全体		5,554	5.7	37.2	15.0	3.3	3.3	2.8	4.5	5.7	3.0	55.4
学年別	小学生	3,216	6.1	47.6	21.0	3.6	3.3	2.7	4.7	3.7	3.2	46.6
	5年生	1,309	6.3	62.3	32.9	3.7	3.8	2.8	6.2	4.7	3.7	31.6
	6年生	1,907	6.0	37.5	12.8	3.6	2.9	2.6	3.7	3.0	2.8	56.9
	中学生	2,338	5.2	22.9	6.8	2.9	3.3	2.9	4.3	8.5	2.6	67.6
	1年生	1,049	5.2	28.7	8.1	2.4	3.3	2.5	3.8	7.7	2.0	63.2
	2年生	618	5.7	19.3	6.0	3.9	3.4	3.6	5.5	10.0	3.2	69.6
3年生	671	4.8	17.1	5.4	2.7	3.3	2.8	3.9	8.2	3.0	72.6	
企画展 来場意向別	意向あり	1,250	10.9	46.6	21.4	5.8	5.8	4.5	7.4	7.4	5.0	45.0
	意向なし	2,025	3.9	32.3	12.5	2.7	2.8	2.3	3.2	5.6	2.4	61.2
	未判断 (わからない)	2,279	4.6	36.3	13.6	2.5	2.4	2.2	4.2	4.8	2.3	56.0
企画展 来場意向別	意向あり	2,583	7.7	42.3	18.3	4.0	3.6	3.1	5.7	6.2	3.4	49.4
	意向なし	846	5.4	32.5	14.4	3.9	4.4	4.0	4.7	6.0	4.3	61.0
	未判断 (わからない)	2,125	3.5	32.8	11.2	2.2	2.5	1.8	3.0	4.9	1.8	60.5

※ ■ は全体より10ポイント以上、■ は全体より5ポイント以上高い

単位：%

【一般】



		(n)	浮田幸吉	藤田傳三郎	スロト・ウムルンデル	山羽虎夫	谷口久吉	守分十	松田壮三郎	土光敏夫	相賀武夫	誰の中らない
一般全体		818	42.3	62.2	8.8	13.9	3.5	10.4	18.8	59.7	3.3	18.9
年代別	20代以下	45	22.2	40.0	20.0	6.7	2.2	4.4	8.9	15.6	6.7	48.9
	30代	75	18.7	49.3	9.3	2.7	1.3	-	10.7	6.7	-	41.3
	40代	129	31.8	54.3	6.2	8.5	3.9	5.4	10.1	38.0	1.6	30.2
	50代	232	46.6	73.3	9.1	19.4	2.6	3.4	12.9	59.1	3.0	15.1
	60代	194	52.6	62.9	6.7	17.0	3.1	12.9	22.7	82.5	4.1	10.3
	70代以上	142	49.3	64.1	9.9	14.1	7.0	30.3	38.0	90.8	4.9	5.6
職業別	高校生・大学生	13	23.1	30.8	7.7	7.7	-	-	15.4	7.7	-	61.5
	社会人	805	42.6	62.7	8.8	14.0	3.6	10.6	18.9	60.5	3.4	18.3
	有職	632	41.5	62.3	8.7	13.8	3.2	7.1	16.1	55.4	3.0	21.0
	無職	173	46.8	64.2	9.2	15.0	5.2	23.1	28.9	79.2	4.6	8.1
居住地別	岡山県内	790	42.7	63.0	9.0	13.9	3.5	10.8	18.9	60.0	3.3	18.5
	岡山市内	740	42.7	62.8	8.6	14.5	3.4	10.7	18.6	60.4	3.5	18.5
	岡山市外	50	42.0	66.0	14.0	6.0	6.0	12.0	22.0	54.0	-	18.0
	岡山県外	26	34.6	38.5	3.8	15.4	3.8	-	15.4	46.2	3.8	34.6
企画展 来場意向別	意向あり	415	52.0	71.1	11.6	20.2	5.1	13.0	24.8	71.6	4.3	10.4
	意向なし	101	21.8	47.5	5.0	6.9	-	1.0	7.9	34.7	-	36.6
	未判断(わからない)	270	37.4	57.8	7.0	7.8	2.2	11.1	11.5	51.1	3.3	24.4
企画展 来場意向別	意向あり	471	47.6	66.7	10.6	17.4	4.0	12.3	20.4	64.8	3.4	14.6
	意向なし	112	31.3	57.1	8.9	11.6	2.7	5.4	8.9	50.9	3.6	25.9
	未判断(わからない)	202	39.6	59.9	5.9	8.4	2.5	9.9	17.8	53.0	3.5	23.8

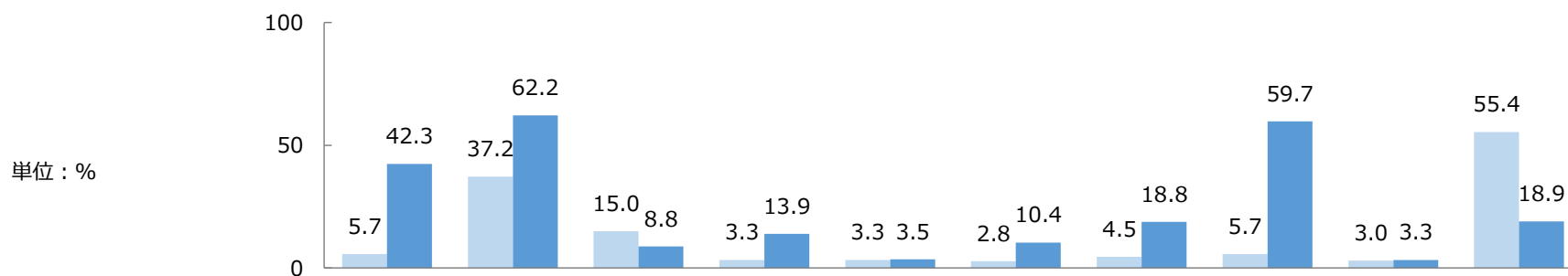
※ ■ は全体より10ポイント以上、■ は全体より5ポイント以上高い

単位：%

- 小中学生同様、「藤田 傳三郎」の認知度が62.2%で最も高い。これに「土光 敏夫 (59.7%)」「浮田 幸吉 (42.3%)」が続いている。「松田 壮三郎」の認知度は18.8%、「山羽 虎夫」は13.9%、「守分 十」は10.4%で、「ローウェンホルスト・ムルデル (8.8%)」「谷口 久吉 (3.5%)」「相賀 武夫 (3.3%)」の認知度は10%を下回っている。
- 40代以下では、30%以上がいずれの偉人も認知していないが、20代以下は20.0%が「ローウェンホルスト・ムルデル」を認知している。50代は「藤田 傳三郎」、60代は「浮田 幸吉」「土光 敏夫」、70代以上は「守分 十」「松田 壮三郎」「土光 敏夫」の認知度が全体に比べて高い。

■小中学生・一般の比較

- 産業・社会開発分野の偉人の認知度を小中学生と一般で比較すると、「ローウェンホルスト・ムルデル」以外は小中学生の方が認知度が低く、「土光 敏夫」は54.0ポイント、「浮田 幸吉」は36.6ポイントの大きな差がついている。「藤田 傳三郎」「松田 壮三郎」「山羽 虎夫」も10ポイント以上の差がみられる。



	(サンプル数)	浮田 幸吉	藤田 傳三郎	ローウェンホルスト・ムルデル	山羽 虎夫	谷口 久吉	守分 十	松田 壮三郎	土光 敏夫	相賀 武夫	誰のもの知らない
小中学生全体	5,554	5.7	37.2	15.0	3.3	3.3	2.8	4.5	5.7	3.0	55.4
一般全体	818	42.3	62.2	8.8	13.9	3.5	10.4	18.8	59.7	3.3	18.9

差異 (小中学生 - 一般)		-36.6	-25.0	6.2	-10.6	-0.2	-7.6	-14.3	-54.0	-0.3	36.5
----------------	--	-------	-------	-----	-------	------	------	-------	-------	------	------

※紺字は小学生が一般より30ポイント以上低く、青地は10ポイント以上低い

単位：ポイント

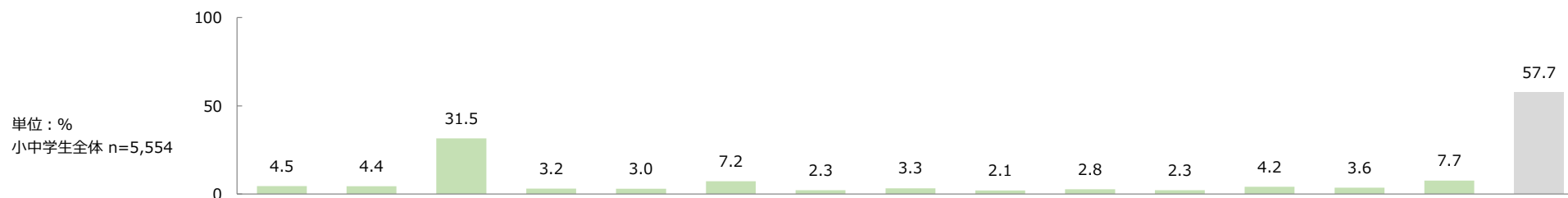
2-3. 学問・教育・社会福祉分野の偉人認知度

岡山市にゆかりのある偉人を、下記のとおり例をあげて紹介しています。あなたの知っている人を選んでください。

(複数回答 / 【小中学生】質問2 / 【一般】質問4)

【小中学生】

- 学問・教育・社会福祉分野の偉人の認知度では、「緒方 洪庵」の認知度が31.5%と最も高い。その他の偉人については、いずれも認知度が10%を下回っている。また57.7%の児童・生徒がいずれの偉人も認知していない。



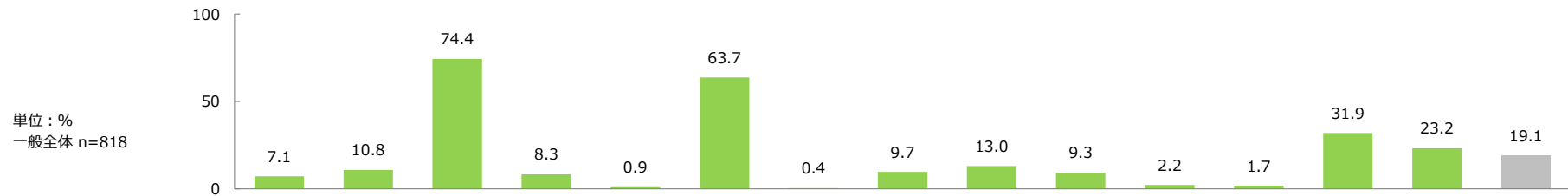
		(n)	藤井 高尚	難波 抱節	緒方 洪庵	江川 三郎八	矢部 辰三郎	石井 十次	岸本 能武太	藤井 静一	上代 淑	光田 健輔	高田 馬治	田中 文男	大賀 一郎	三宅 精一	誰も知らない
小中学生全体		5,554	4.5	4.4	31.5	3.2	3.0	7.2	2.3	3.3	2.1	2.8	2.3	4.2	3.6	7.7	57.7
学年別	小学生	3,216	4.3	4.7	31.7	3.4	2.8	6.7	2.3	3.8	2.1	3.1	2.2	4.5	4.2	7.1	57.8
	5年生	1,309	4.3	5.5	46.2	3.7	2.8	8.5	2.6	4.8	2.1	3.4	2.8	5.3	4.1	8.3	44.5
	6年生	1,907	4.2	4.1	21.7	3.1	2.8	5.5	2.1	3.0	2.1	2.9	1.9	3.9	4.3	6.3	66.9
	中学生	2,338	4.9	4.1	31.4	2.9	3.2	7.8	2.1	2.7	2.1	2.5	2.5	3.8	2.8	8.6	57.7
	1年生	1,049	4.7	5.1	21.2	2.2	2.7	5.4	2.0	2.5	1.5	1.9	2.4	3.2	2.4	6.8	66.5
	2年生	618	6.3	3.6	36.2	3.9	3.9	9.5	2.4	2.9	2.8	3.6	2.8	4.4	3.6	9.9	52.8
3年生	671	3.9	3.1	42.9	3.1	3.4	10.0	2.1	2.8	2.5	2.5	2.4	4.3	2.7	10.1	48.4	
企画展 来場意向別	意向あり	1,250	7.5	7.4	41.1	5.7	5.1	12.2	4.2	6.2	3.8	5.1	3.7	7.2	6.8	13.4	44.8
	意向なし	2,025	3.7	3.5	27.3	2.6	2.3	4.6	1.9	2.5	1.6	2.2	2.1	3.3	2.8	6.3	64.1
	未判断 (わからない)	2,279	3.6	3.7	30.1	2.4	2.4	6.7	1.4	2.5	1.6	2.2	1.8	3.4	2.6	5.8	59.1
企画展 来場意向別	意向あり	2,583	4.9	5.2	37.3	3.8	3.6	9.4	2.6	4.0	2.5	3.3	2.5	4.8	4.1	9.4	50.4
	意向なし	846	5.8	4.4	26.1	3.5	3.8	5.7	3.2	3.5	2.7	3.8	3.1	4.4	4.1	7.2	66.1
	未判断 (わからない)	2,125	3.5	3.6	26.7	2.3	1.9	5.0	1.4	2.4	1.5	1.9	1.8	3.5	2.8	5.9	63.3

※ ■ は全体より10ポイント以上、■ は全体より5ポイント以上高い

単位：%

【一般】

- 小中学生同様、「緒方 洪庵」の認知度が74.4%で最も高い。次点は「石井 十次」の63.7%である。
「大賀 一郎」の認知度は31.9%、「三宅 精一」は23.2%、「上代 淑」は13.0%、「難波 抱節」は10.8%である。
「藤井 静一（9.7%）」「光田 健輔（9.3%）」「江川 三郎八（8.3%）」「藤井 高尚（7.1%）」「高田 馬治（2.2%）」「田中 文男（1.7%）」
「矢部 辰三郎（0.9%）」「岸本 能武太（0.4%）」の認知度は10%を下回っている。
- 年代別では、60代は「石井 十次」、70代以上は「石井 十次」「大賀 一郎」の認知度が全体に比べて高い。

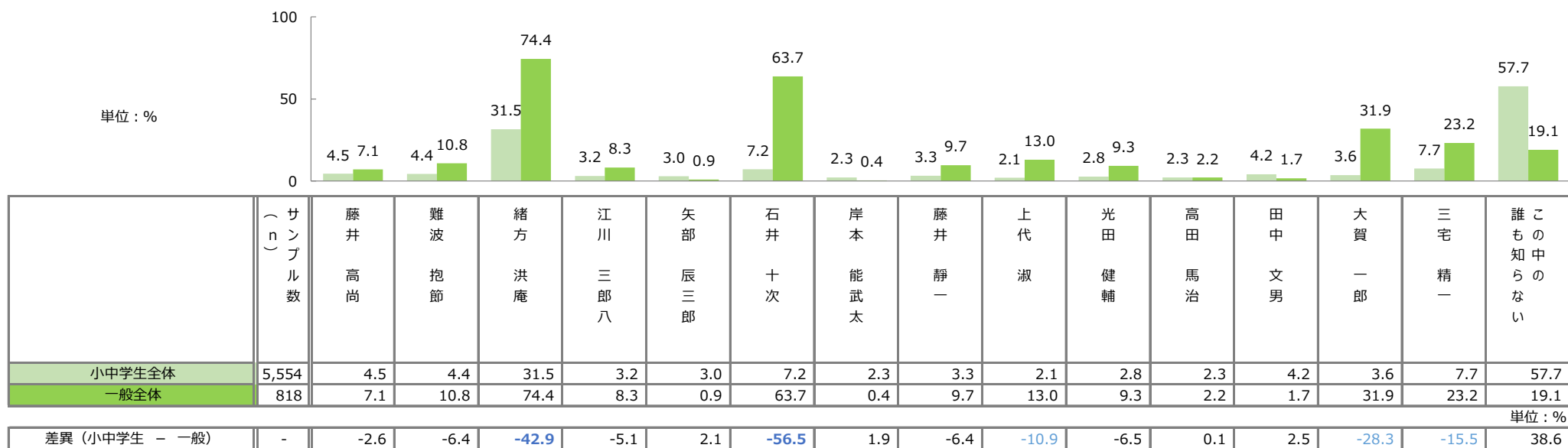


	(n)	藤井 高尚	難波 抱節	緒方 洪庵	江川 三郎八	矢部 辰三郎	石井 十次	岸本 能武太	藤井 静一	上代 淑	光田 健輔	高田 馬治	田中 文男	大賀 一郎	三宅 精一	誰も知らない
		一般全体	818	7.1	10.8	74.4	8.3	0.9	63.7	0.4	9.7	13.0	9.3	2.2	1.7	31.9
年代別	20代以下	45	6.7	13.3	55.6	4.4	-	28.9	-	6.7	-	2.2	-	11.1	13.3	40.0
	30代	75	1.3	2.7	54.7	4.0	1.3	36.0	-	5.3	2.7	1.3	-	8.0	13.3	42.7
	40代	129	3.1	9.3	65.1	3.1	0.8	51.2	-	5.4	3.9	2.3	0.8	14.7	18.6	28.7
	50代	232	4.3	6.9	80.2	9.1	0.4	68.1	0.4	6.5	15.1	11.2	1.7	31.9	25.0	16.4
	60代	194	12.4	16.0	83.0	11.9	1.5	74.7	1.0	12.4	21.1	12.9	2.1	40.7	29.9	10.3
	70代以上	142	11.3	14.1	78.2	10.6	0.7	78.2	-	18.3	15.5	14.1	4.9	54.2	23.2	7.7
職業別	高校生・大学生	13	7.7	15.4	30.8	7.7	-	30.8	-	15.4	-	-	-	7.7	23.1	53.8
	社会人	805	7.1	10.7	75.2	8.3	0.9	64.2	0.4	9.6	13.2	9.4	2.2	32.3	23.2	18.5
	有職	632	6.3	10.0	74.2	7.3	0.8	61.2	0.5	8.5	12.0	8.7	1.9	26.6	22.3	20.9
無職	173	9.8	13.3	78.6	12.1	1.2	75.1	-	13.3	17.3	12.1	4.0	53.2	26.6	9.8	
居住地別	岡山県内	790	7.3	11.1	74.6	8.6	0.8	64.3	0.4	9.6	13.2	9.4	2.2	32.0	23.2	19.0
	岡山市内	740	7.4	11.1	74.7	8.8	0.7	64.3	0.4	9.7	12.8	9.2	1.9	32.3	23.9	18.9
	岡山市外	50	6.0	12.0	72.0	6.0	2.0	64.0	-	8.0	18.0	12.0	6.0	28.0	12.0	20.0
	岡山県外	26	-	-	73.1	-	3.8	42.3	-	3.8	7.7	7.7	-	26.9	26.9	23.1
企画展 来場意向別	意向あり	415	10.8	14.2	83.4	13.0	1.4	75.2	0.7	10.8	19.0	11.8	3.4	42.7	31.8	12.3
	意向なし	101	1.0	4.0	62.4	-	-	38.6	-	2.0	3.0	2.0	-	9.9	5.9	32.7
	未判断 (わからない)	270	4.4	8.5	68.5	4.8	-	56.3	-	5.2	8.5	9.3	1.1	24.4	17.4	23.7
企画展 来場意向別	意向あり	471	10.0	12.5	78.6	10.0	0.6	68.4	0.4	9.8	15.1	9.6	2.5	35.9	28.2	16.3
	意向なし	112	3.6	6.3	76.8	5.4	1.8	57.1	0.9	4.5	7.1	8.0	1.8	17.0	14.3	17.0
	未判断 (わからない)	202	3.5	9.9	68.3	6.9	0.5	57.9	-	4.5	12.9	10.9	1.5	32.2	17.8	25.7

※ ■ は全体より10ポイント以上、■ は全体より5ポイント以上高い

■小中学生・一般の比較

- 学問・教育・社会福祉分野の偉人について小中学生と一般を比較すると、ほかの分野同様、多くの偉人について小中学生の方が認知度が低く、「石井 十次」は56.5ポイント、「緒方 洪庵」は42.9ポイントの大きな差がついている。「大賀 一郎」「三宅 精一」「上代 淑」も10ポイント以上の差がみられる。



※紺字は小学生が一般より30ポイント以上低く、青地は10ポイント以上低い

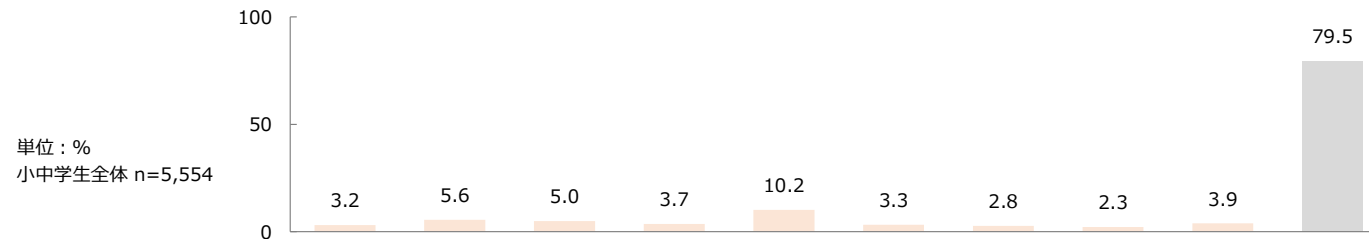
2-4. 文学・文化・芸術・芸能分野の偉人認知度

岡山市にゆかりのある偉人を、下記のとおり例をあげて紹介しています。あなたの知っている人を選んでください。

(複数回答 / 【小中学生】質問2 / 【一般】質問4)

【小中学生】

- 文学・文化・芸術・芸能分野では、「坪田 譲治」の認知度が10.2%である以外は、いずれの偉人の認知度も10%を下回っており、79.5%がいずれの偉人も認知していない。

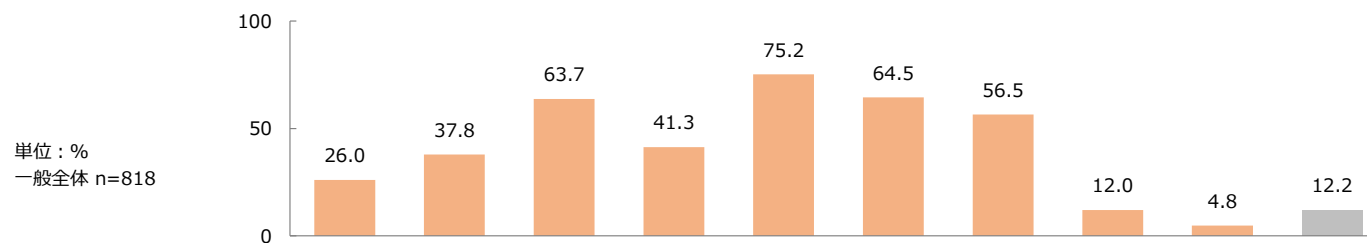


		(n)	尾上 松之助	木下 利玄	内田 百閒	国吉 康雄	坪田 譲治	吉行 あぐり	吉行 淳之介	時実 新子	森安 なおや	誰のものでもない
小中学生全体		5,554	3.2	5.6	5.0	3.7	10.2	3.3	2.8	2.3	3.9	79.5
学年別	小学生	3,216	3.3	3.9	4.6	3.7	8.7	3.3	2.6	2.1	4.3	82.2
	5年生	1,309	3.8	3.6	5.0	4.3	9.1	4.2	3.1	2.4	4.8	81.0
	6年生	1,907	2.9	4.1	4.2	3.3	8.4	2.6	2.3	2.0	4.0	83.0
	中学生	2,338	3.2	7.9	5.5	3.7	12.2	3.3	3.1	2.4	3.3	75.9
	1年生	1,049	2.4	5.9	3.7	2.7	9.2	2.9	2.8	1.5	2.1	81.4
	2年生	618	3.7	8.9	6.3	4.5	14.7	4.0	4.0	3.1	4.4	72.3
	3年生	671	4.0	10.0	7.5	4.6	14.6	3.4	2.8	3.3	4.2	70.5
企画展 来場意向別	意向あり	1,250	6.2	8.0	8.2	7.1	15.4	5.4	5.3	3.8	7.0	71.0
	意向なし	2,025	2.5	4.9	3.8	2.5	9.5	2.4	2.1	2.0	2.9	82.6
	未判断 (わからない)	2,279	2.3	4.9	4.3	2.9	7.9	2.9	2.2	1.6	3.0	81.4
企画展 来場意向別	意向あり	2,583	3.9	6.3	6.0	4.8	12.6	3.8	3.1	2.7	4.4	74.8
	意向なし	846	3.4	5.3	4.3	3.5	9.7	3.7	4.0	3.2	4.6	83.2
	未判断 (わからない)	2,125	2.4	4.8	4.0	2.4	7.4	2.5	2.1	1.4	3.0	83.7

※ ■ は全体より10ポイント以上、■ は全体より5ポイント以上高い

単位：%

【一般】



		(n)	尾上松之助	木下利玄	内田百閒	国吉康雄	坪田譲治	吉行あぐり	吉行淳之介	時実新子	森安なおや	誰も知らない
一般全体		818	26.0	37.8	63.7	41.3	75.2	64.5	56.5	12.0	4.8	12.2
年代別	20代以下	45	4.4	22.2	28.9	8.9	48.9	8.9	8.9	2.2	2.2	40.0
	30代	75	4.0	13.3	36.0	26.7	62.7	28.0	17.3	-	1.3	28.0
	40代	129	18.6	24.0	58.1	29.5	72.9	58.9	38.0	7.0	3.1	7.0
	50代	232	27.6	40.9	73.7	47.8	75.0	74.1	60.8	15.1	6.9	11.2
	60代	194	29.9	47.9	70.1	50.0	80.4	74.2	75.3	17.0	5.2	8.8
	70代以上	142	43.0	48.6	69.0	47.2	85.2	77.5	76.1	14.1	4.9	6.3
職業別	高校生・大学生	13	7.7	15.4	53.8	7.7	61.5	15.4	15.4	-	-	30.8
	社会人	805	26.3	38.1	63.9	41.9	75.4	65.3	57.1	12.2	4.8	11.9
	有職	632	22.6	36.9	63.1	41.3	73.9	62.0	52.8	12.2	4.6	13.3
	無職	173	39.9	42.8	66.5	43.9	80.9	77.5	72.8	12.1	5.8	6.9
居住地別	岡山県内	790	26.3	39.0	64.4	41.6	76.3	64.8	56.5	12.0	4.8	11.8
	岡山市内	740	26.6	39.5	65.0	41.8	76.6	64.6	56.9	12.2	4.9	11.9
	岡山市外	50	22.0	32.0	56.0	40.0	72.0	68.0	50.0	10.0	4.0	10.0
	岡山県外	26	19.2	3.8	46.2	26.9	38.5	53.8	53.8	11.5	3.8	26.9
企画展 来場意向別	意向あり	415	34.5	48.2	73.0	50.1	80.2	71.6	66.0	16.4	6.3	8.2
	意向なし	101	9.9	18.8	40.6	27.7	62.4	47.5	29.7	5.9	-	25.7
	未判断 (わからない)	270	21.9	30.4	63.0	34.8	74.4	63.3	51.5	8.9	4.4	13.3
企画展 来場意向別	意向あり	471	30.4	43.3	69.2	44.4	78.8	69.6	60.7	13.4	5.1	8.7
	意向なし	112	21.4	30.4	51.8	35.7	62.5	52.7	38.4	13.4	5.4	23.2
	未判断 (わからない)	202	22.3	31.2	64.4	40.1	77.2	63.9	56.4	9.9	4.0	13.9

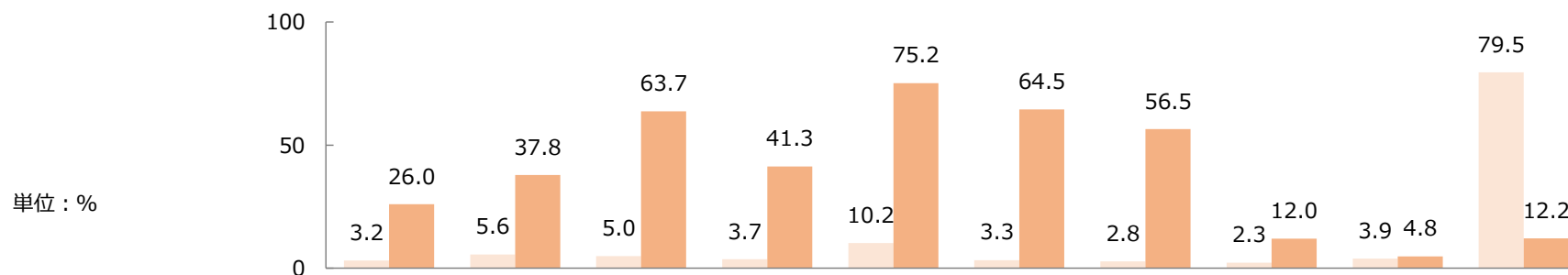
※ ■ は全体より10ポイント以上、■ は全体より5ポイント以上高い

単位：%

- 一般では、「坪田 譲治 (75.2%)」「吉行 あぐり (64.5%)」「内田 百閒 (63.7%)」「吉行 淳之介 (56.5%)」の認知度が50%を上回っており、「国吉 康雄 (41.3%)」「木下 利玄 (37.8%)」「尾上 松之助 (26.0%)」が続いている。「時実 新子」の認知度は12.0%、「森安 なおや」は4.8%である。
- 年代別にみると、50代は「内田 百閒」、60代は「木下 利玄」「吉行 淳之介」、70代以上は「尾上 松之助」「木下 利玄」「坪田 譲治」「吉行 あぐり」「吉行 淳之介」の認知度が全体に比べて高い。30代以下は20%以上がいずれの偉人も認知していない。

■小中学生・一般の比較

- 文学・文化・芸術・芸能分野でも、いずれの偉人の認知度も小中学生の方が低く、「坪田 譲治」「吉行 あぐり」「内田 百閒」「吉行 淳之介」「国吉 康雄」「木下 利玄」など、多くの偉人について30ポイント以上の差がみられる。「尾上 松之助」も22.8ポイントの差がみられる。



	(サンプル数)	尾上松之助	木下利玄	内田百閒	国吉康雄	坪田譲治	吉行あぐり	吉行淳之介	時実新子	森安なおや	誰も知らない
小中学生全体	5,554	3.2	5.6	5.0	3.7	10.2	3.3	2.8	2.3	3.9	79.5
一般全体	818	26.0	37.8	63.7	41.3	75.2	64.5	56.5	12.0	4.8	12.2

単位：%

差異 (小中学生 - 一般)	-	-22.8	-32.2	-58.7	-37.6	-65.0	-61.2	-53.7	-9.7	-0.9	67.3
----------------	---	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	------

単位：ポイント

※紺字は小学生が一般より30ポイント以上低く、青地は10ポイント以上低い

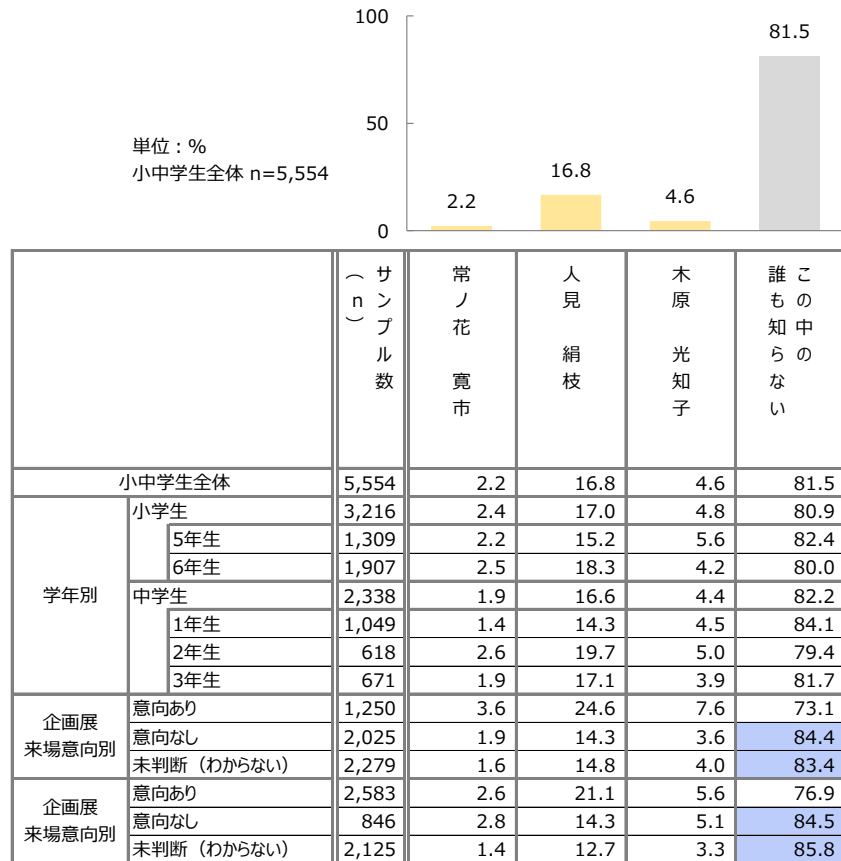
2-5. スポーツ分野の偉人認知度

岡山市にゆかりのある偉人を、下記のとおり例をあげて紹介しています。あなたの知っている人を選んでください。

(複数回答 / 【小中学生】質問2 / 【一般】質問4)

【小中学生】

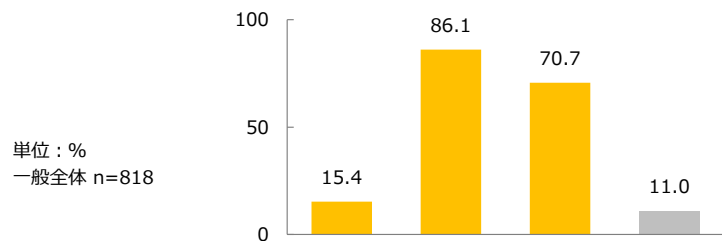
- スポーツ分野では、16.8%が「人見 絹枝」を認知している。
「木原 光知子」の認知度は4.6%、「常ノ花 寛市」は2.2%である。



※ ■ は全体より10ポイント以上、■ は全体より5ポイント以上高い

単位：%

【一般】



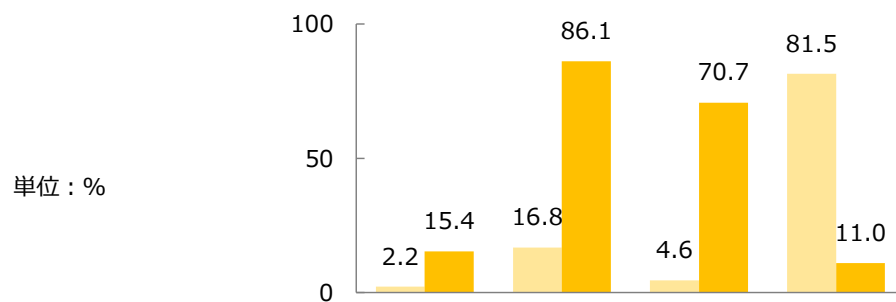
- 一般では、「人見 絹枝」の認知度が86.1%と最も高く、「木原 光知子」が70.7%で続いている。「常ノ花 寛市」は15.4%である。
- 年代別では、50代・60代は「木原 光知子」、70代以上は「常ノ花 寛市」「木原 光知子」の認知度が全体に比べて高い。30代以下は30%以上がいずれの偉人も認知していない。

		(サ ン プ ル 数)	常 ノ 花 寛 市	人 見 絹 枝	木 原 光 知 子	誰 こ も の 知 ら な い
一般全体		818	15.4	86.1	70.7	11.0
年代別	20代以下	45	-	48.9	4.4	51.1
	30代	75	1.3	66.7	10.7	33.3
	40代	129	4.7	86.0	45.7	11.6
	50代	232	12.5	87.9	82.8	7.3
	60代	194	21.6	93.3	94.3	3.1
	70代以上	142	33.1	95.1	93.7	2.8
職業別	高校生・大学生	13	-	46.2	7.7	53.8
	社会人	805	15.7	86.7	71.7	10.3
	有職	632	12.8	85.8	67.1	11.4
	無職	173	26.0	90.2	88.4	6.4
居住地別	岡山県内	790	15.7	86.6	70.6	10.9
	岡山市内	740	15.9	86.9	70.9	10.4
	岡山市外	50	12.0	82.0	66.0	18.0
	岡山県外	26	3.8	69.2	69.2	15.4
企画展 来場意向別	意向あり	415	21.7	92.5	77.6	5.5
	意向なし	101	4.0	68.3	49.5	29.7
	未判断（わからない）	270	10.7	83.0	68.9	12.6
企画展 来場意向別	意向あり	471	17.2	90.2	73.0	7.4
	意向なし	112	9.8	75.9	55.4	22.3
	未判断（わからない）	202	15.3	82.2	74.8	13.4

※ ■ は全体より10ポイント以上、■ は全体より5ポイント以上高い 単位：％

■小中学生・一般の比較

- スポーツ分野でも、いずれの偉人の認知度も小中学生の方が低く、「人見 絹枝」は69.3ポイント、「木原 光知子」も66.1ポイントの大きな差がみられる。「常ノ花 寛市」の認知度差も13.2ポイントである。



	(n) サンプル数	常ノ花 寛市	人見 絹枝	木原 光知子	誰 も 知 ら な い
小中学生全体	5,554	2.2	16.8	4.6	81.5
一般全体	818	15.4	86.1	70.7	11.0

単位：%

差異（小中学生 - 一般）	-	-13.2	-69.3	-66.1	70.5
---------------	---	-------	-------	-------	------

※紺字は小学生が一般より30ポイント以上低く、青地は10ポイント以上低い

単位：ポイント

2-6. 認知度ランキング

【小中学生】

認知度 ランキング	偉人名	分野	認知者 件数	認知度	一般（次頁詳細）	
					ランキング	認知率
1	犬養 毅	政治・社会分野	2,389	43.0%	1	96.8%
2	藤田 傳三郎	産業・社会開発分野	2,066	37.2%	10	62.2%
3	緒方 洪庵	学問・教育・社会福祉分野	1,752	31.5%	5	74.4%
4	人見 絹枝	スポーツ分野	935	16.8%	2	86.1%
5	ローウェンホルスト・ムルデル	産業・社会開発分野	833	15.0%	31	8.8%
6	坪田 譲治	文学・文化・芸術・芸能分野	565	10.2%	4	75.2%
7	瀧 善三郎	政治・社会分野	543	9.8%	18	26.0%
8	三宅 精一	学問・教育・社会福祉分野	429	7.7%	21	23.2%
9	石井 十次	学問・教育・社会福祉分野	398	7.2%	8	63.7%
10	浮田 幸吉	産業・社会開発分野	319	5.7%	14	42.3%
11	土光 敏夫	産業・社会開発分野	316	5.7%	11	59.7%
12	木下 利玄	文学・文化・芸術・芸能分野	310	5.6%	16	37.8%
13	江田 五月	政治・社会分野	306	5.5%	3	85.8%
14	内田 百閒	文学・文化・芸術・芸能分野	275	5.0%	8	63.7%
15	木原 光知子	スポーツ分野	258	4.6%	6	70.7%
16	松田 壮三郎	産業・社会開発分野	251	4.5%	22	18.8%
16	藤井 高尚	学問・教育・社会福祉分野	251	4.5%	33	7.1%
18	難波 抱節	学問・教育・社会福祉分野	247	4.4%	27	10.8%
19	田中 文男	学問・教育・社会福祉分野	234	4.2%	39	1.7%
20	宇垣 一成	政治・社会分野	225	4.1%	20	23.6%
21	岡崎 平夫	政治・社会分野	217	3.9%	13	47.7%
22	森安 なおや	文学・文化・芸術・芸能分野	216	3.9%	34	4.8%
23	国吉 康雄	文学・文化・芸術・芸能分野	205	3.7%	15	41.3%
24	横山 莫太	政治・社会分野	201	3.6%	35	4.0%
24	大賀 一郎	学問・教育・社会福祉分野	201	3.6%	17	31.9%
26	山羽 虎夫	産業・社会開発分野	184	3.3%	24	13.9%
26	谷口 久吉	産業・社会開発分野	184	3.3%	36	3.5%
26	藤井 静一	学問・教育・社会福祉分野	184	3.3%	29	9.7%
29	吉行 あゆ	文学・文化・芸術・芸能分野	183	3.3%	7	64.5%
30	尾上 松之助	文学・文化・芸術・芸能分野	180	3.2%	18	26.0%
31	江川 三郎八	学問・教育・社会福祉分野	177	3.2%	32	8.3%
32	矢部 辰三郎	学問・教育・社会福祉分野	165	3.0%	40	0.9%
33	相賀 武夫	産業・社会開発分野	164	3.0%	37	3.3%
34	光田 健輔	学問・教育・社会福祉分野	158	2.8%	30	9.3%
35	吉行 淳之介	文学・文化・芸術・芸能分野	157	2.8%	12	56.5%
36	守分 十	産業・社会開発分野	153	2.8%	28	10.4%
37	高田 馬治	学問・教育・社会福祉分野	130	2.3%	38	2.2%
38	時美 新子	文学・文化・芸術・芸能分野	126	2.3%	26	12.0%
39	岸本 能武太	学問・教育・社会福祉分野	125	2.3%	41	0.4%
40	常ノ花 寛市	スポーツ分野	120	2.2%	23	15.4%
41	上代 淑	学問・教育・社会福祉分野	118	2.1%	25	13.0%

- 分野を分けずにみると、小中学生では「犬養 毅」の認知度が43.0%で最も高く、「藤田 傳三郎」「緒方 洪庵」が30%台で続いている。4～6位には「人見 絹枝」「ローウェンホルスト・ムルデル」「坪田 譲治」が10%台で続き、7～10位の「瀧 善三郎」「三宅 精一」「石井 十次」「浮田 幸吉」の認知度は10%を下回っている。5位の「ローウェンホルスト・ムルデル」は一般では31位、8位の「三宅 精一」は一般では21位と順位が大きく異なり、世代によってランキングの違いが特に大きい。
- また、上位10位には学問・教育・社会福祉分野の偉人が3名と多く、スポーツ分野では「人見 絹枝」、文学・文化・芸術・芸能分野では「坪田 譲治」の各1名である。
- 21位以下では学問・教育・社会福祉分野や文学・文化・芸術・芸能分野の偉人が目立つ。

【一般】

認知度 ランキング	偉人名	分野	認知者 件数	認知度	小中学生（前頁詳）	
					ランキング	認知率
1	犬養 毅	政治・社会分野	792	96.8%	1	43.0%
2	人見 絹枝	スポーツ分野	704	86.1%	4	16.8%
3	江田 五月	政治・社会分野	702	85.8%	13	5.5%
4	坪田 譲治	文学・文化・芸術・芸能分野	615	75.2%	6	10.2%
5	緒方 洪庵	学問・教育・社会福祉分野	609	74.4%	3	31.5%
6	木原 光知子	スポーツ分野	578	70.7%	15	4.6%
7	吉行 あぐり	文学・文化・芸術・芸能分野	528	64.5%	29	3.3%
8	石井 十次	学問・教育・社会福祉分野	521	63.7%	9	7.2%
8	内田 百閒	文学・文化・芸術・芸能分野	521	63.7%	14	5.0%
10	藤田 傳三郎	産業・社会開発分野	509	62.2%	2	37.2%
11	土光 敏夫	産業・社会開発分野	488	59.7%	11	5.7%
12	吉行 淳之介	文学・文化・芸術・芸能分野	462	56.5%	35	2.8%
13	岡崎 平夫	政治・社会分野	390	47.7%	21	3.9%
14	浮田 幸吉	産業・社会開発分野	346	42.3%	10	5.7%
15	国吉 康雄	文学・文化・芸術・芸能分野	338	41.3%	23	3.7%
16	木下 利玄	文学・文化・芸術・芸能分野	309	37.8%	12	5.6%
17	大賀 一郎	学問・教育・社会福祉分野	261	31.9%	24	3.6%
18	瀧 善三郎	政治・社会分野	213	26.0%	7	9.8%
18	尾上 松之助	文学・文化・芸術・芸能分野	213	26.0%	30	3.2%
20	宇垣 一成	政治・社会分野	193	23.6%	20	4.1%
21	三宅 精一	学問・教育・社会福祉分野	190	23.2%	8	7.7%
22	松田 壮三郎	産業・社会開発分野	154	18.8%	16	4.5%
23	常ノ花 寛市	スポーツ分野	126	15.4%	40	2.2%
24	山羽 虎夫	産業・社会開発分野	114	13.9%	26	3.3%
25	上代 淑	学問・教育・社会福祉分野	106	13.0%	41	2.1%
26	時実 新子	文学・文化・芸術・芸能分野	98	12.0%	38	2.3%
27	難波 抱節	学問・教育・社会福祉分野	88	10.8%	18	4.4%
28	守分 十	産業・社会開発分野	85	10.4%	36	2.8%
29	藤井 静一	学問・教育・社会福祉分野	79	9.7%	26	3.3%
30	光田 健輔	学問・教育・社会福祉分野	76	9.3%	34	2.8%
31	ローエンホルスト・ムルデル	産業・社会開発分野	72	8.8%	5	15.0%
32	江川 三郎八	学問・教育・社会福祉分野	68	8.3%	31	3.2%
33	藤井 高尚	学問・教育・社会福祉分野	58	7.1%	16	4.5%
34	森安 なおや	文学・文化・芸術・芸能分野	39	4.8%	22	3.9%
35	横山 昊太	政治・社会分野	33	4.0%	24	3.6%
36	谷口 久吉	産業・社会開発分野	29	3.5%	26	3.3%
37	相賀 武夫	産業・社会開発分野	27	3.3%	33	3.0%
38	高田 馬治	学問・教育・社会福祉分野	18	2.2%	37	2.3%
39	田中 文男	学問・教育・社会福祉分野	14	1.7%	19	4.2%
40	矢部 辰三郎	学問・教育・社会福祉分野	7	0.9%	32	3.0%
41	岸本 能武大	学問・教育・社会福祉分野	3	0.4%	39	2.3%

- 一般においても、「犬養 毅」の認知度が96.8%で最も高い。これに「人見 絹枝」の86.1%、「江田 五月」の85.8%が続いている。4～6位は「坪田 譲治」「緒方 洪庵」「木原 光知子」が70%台で続き、7～10位は60%台で「吉行 あぐり」「石井 十次」「内田 百閒」「藤田 傳三郎」が続いている。7位の「吉行 あぐり」は、小中学生では29位と順位が大きく異なっている。
- 上位10位には、文学・文化・芸術・芸能分野の偉人が3名と最も多く、産業・社会開発分野では「藤田 傳三郎」の1名だけである。
- 21位以下では学問・教育・社会福祉分野や産業・社会開発分野の偉人が目立つ。

2-7. 例示41人の人物紹介と偉人への思い

(例示41人から) 選んだ偉人への思いがあればご記入ください。(自由回答 / 【小中学生】質問4 / 【一般】質問6)

【政治・社会分野の偉人】

偉人名	人物紹介	偉人への思い (自由記述の一部抜粋)
① 瀧善三郎 (たきぜんざぶろう) (1837~1868)	岡山藩兵。フランス人水兵と衝突した『神戸事件』で切腹し、日本政府は瀧の犠牲によって外交的危機を切り抜けた 出典：あつ晴れ岡山人 (第25回国民文化祭岡山県実行委員会発刊)	神戸事件を身一つでおさめたラストサムライ (40代) 新しい時代の幕開けの影で人知れず国を守った人が岡山にいたことは、岡山県人の誇りとして伝えていかなければいけないと思う (90代)
② 犬養毅 (いぬかいつよし) (1855~1932)	政治家。第29代首相。『5・15事件』で凶弾に倒れた	「話せばわかる」の言葉を常に大事にしています (小学6年生) 名言は、思い出すたびに私を励ましたり、元気づけてくれます (小学5年生)
③ 宇垣一成 (うがきかずしげ) (1868~1956)	陸軍大学校を卒業後、陸軍大臣などを拝命した	総理になれなかったのは残念です (20代)
④ 横山晃太 (よこやまこうた) (1889~1974)	20年の長きにわたり岡山市議会議員を務めた後、昭和26年岡山市長に就任し、戦後の復興と地方自治の振興に貢献した 出典：岡山市ホームページ『岡山市名誉市民について』	
⑤ 岡崎平夫 (おかざきひらお) (1909~1993)	5期20年の長きにわたり、岡山市長として岡山市発展の基礎を築き、地方自治の振興に貢献した 出典：岡山市ホームページ『岡山市名誉市民について』	
⑥ 江田五月 (えださつき) (1941~2021)	参議院議長を務めた政治家	自分世代でいつも関心度が高い政治家 (60代)

【産業・社会開発分野の偉人】

偉人名	人物紹介	偉人への思い（自由記述の一部抜粋）
⑦浮田（鳥人・表具師）幸吉 （うきたこうきち） （1757～1847）	表具師。自分の体重にあわせた翼を作り、旭川にかかる京橋から飛行した。日本で初めての飛行といわれた 出典：あつ晴れ岡山人（第25回国民文化祭岡山県実行委員会発刊）	日本で初めて空を飛んだ人としてすごいなと感じている（小学5年生） 空を飛ぶという誰もが夢に見ていたことを実現した希望のような人（中学3年生）
⑧藤田傳三郎（ふじたでんざぶろう） （1841～1912）	実業家。明治期に児島湾干拓事業を手がけた	広々とした干拓地を通るたびに、私財を投じて干拓を続けた傳三郎さんの思いに心を馳せます（50代） 藤田を豊かにしてくれてありがとう（中学1年生）
⑨ローウェンホルスト・ムルデル （1848～1901）	オランダ人工師。児島湾干拓計画図を策定した	感謝しかありません（小学5年生） 藤田傳三郎さんを手伝ってくれてありがとう（中学1年生）
⑩山羽虎夫（やまばとらお） （1874～1957）	電気技師。国産第一号の蒸気自動車を完成させ、試運転を行った	とてもすごい発明をして憧れです（小学5年生） 京橋にある銅像で知りました。もっと功績を広く伝えてほしいと思います（50代）
⑪谷口久吉（たにぐちひさきち） （1889～1968）	実業家。山陽新聞社社長、山陽放送社長として第二次世界大戦後の荒廃した社会の浄化と新しい地方文化の育成に貢献した 出典：岡山市ホームページ『岡山市名誉市民について』	
⑫守分十（もりわけひさし） （1890～1977）	銀行家。中国銀行頭取、岡山県経済団体連合会会長として、第二次世界大戦後の荒廃した産業経済の復興・発展に尽力した 出典：岡山市ホームページ『岡山市名誉市民について』	

【産業・社会開発分野の偉人（つづき）】

偉人名	人物紹介	偉人への思い（自由記述の一部抜粋）
⑬松田壮三郎（まつだそうざぶろう） （1895～1991）	実業家。両備バス社長、西大寺商工会議所会頭として地方産業の振興に尽力するとともに、岡山県議会議員として県政に参画し、地方自治の発展に貢献した 出典：岡山市ホームページ『岡山市名誉市民について』	
⑭土光敏夫（どこうとしお） （1896～1988）	実業家。経済・産業関係の要職を歴任し、第4代経済団体連合会会長に就任し、強烈なバイタリティと卓越した識見をもって日本経済の発展に貢献した 出典：あつ晴れ岡山人（第25回国民文化祭岡山県実行委員会発刊） ／岡山市ホームページ『岡山市名誉市民について』	今までにない新しい会社のあり方について考えていた人ですごい（小学6年生） お金持ちでも欲張らずに様々な場所に寄付できるのは本当にすごい（中学1年生）
⑮相賀武夫（おがたけお） （1897～1938）	出版業者。小学館・集英社を創業した	

【学問・教育・社会福祉分野の偉人】

偉人名	人物紹介	偉人への思い（自由記述の一部抜粋）
⑯藤井高尚（ふじいたかなお） （1764～1840）	国学者・歌人・吉備津神社の神官。平安朝の古典文学研究に大きな業績をあげた 出典：岡山県立図書館ホームページ	
⑰難波抱節（なんばほうせつ） （1791～1859）	医師。『思誠堂』という医学の塾を開き、緒方洪庵から種痘法を学び、天然痘から多くの子どもを救った 出典：岡山県ホームページ	
⑱緒方洪庵（おがたこうあん） （1810～1863）	医師。大坂に『適塾』を開き、福沢諭吉らを輩出。コレラ流行時には治療に尽力した 出典：あつ晴れ岡山人（第25回国民文化祭岡山県実行委員会発刊）	多くの人を苦しめた病である天然痘を予防する牛痘種痘を普及させ、たくさんの命を救っていて凄い（中学1年生） 医師のすばらしさを感じました（小学6年生）

【学問・教育・社会福祉分野の偉人（つづき）】

偉人名	人物紹介	偉人への思い（自由記述の一部抜粋）
⑱江川三郎八（えがわさぶろうはち） （1860～1939）	建築技師。旧旭東幼稚園園舎 八角園舎などを建築した	
⑳矢部辰三郎（やべたつさぶろう） （1863～1924）	海軍軍医。日本で初めて「免疫」という用語を使用した	
㉑岸本能武太（きしもとのぶた） （1865～1928）	社会学者・宗教学者	
㉒石井十次（いしいじゅうじ） （1865～1914）	岡山孤児院の設立者。孤児救済事業に専念し、『児童福祉の父』と呼ばれた 出典：あつ晴れ岡山人（第25回国民文化祭岡山県実行委員会発刊）	小さい時から心の優しい人だったということを知って、私もそんな人になりたいと思いました（小学6年生） 自分が生まれ育った岡山から始まった児童福祉の歴史に誇らしさを感じた（40代）
㉓藤井静一（ふじいせいいち） （1870～1952）	社会運動家。社会福祉事業に生涯をささげ、その取り組みは民生委員制度の礎となった。民生委員第1号と言われている 出典：岡山市ホームページ	ゆかりのある偉人の例として挙げてくださりありがとう（50代） もっと岡山市が全国に知らせるべきだと思います（50代）
㉔上代淑（かじろよし） （1871～1959）	山陽高等女学校、山陽女子高等学校校長として、草創期の日本女子教育並びに私学振興に大きな業績を残した 出典：あつ晴れ岡山人（第25回国民文化祭岡山県実行委員会発刊） ／岡山市ホームページ『岡山市名誉市民について』	身近な人物だなと思っています（小学6年生）

【学問・教育・社会福祉分野の偉人（つづき）】

偉人名	人物紹介	偉人への思い（自由記述の一部抜粋）
②⑤ 光田健輔（みつだけんすけ） （1876～1964）	長島愛生園の園長を81歳の高齢で退くまで救らい事業に献身し、療養所を患者の楽園にしようとした一方、断種・墮胎や患者作業、懲戒検束などで入所者の人権を傷つけた。評価は時代背景・医学水準・社会状況などを総合的に判断する必要がある 参考：岡山市ホームページ『岡山市名誉市民について』／長島愛生園展示図録	ハンセン病が感染力低いとわかり、特效薬ができて使えるようになってからも長く強制隔離を主張し続けた点で、ハンセン病患者を苦しめた人（40代） ハンセン病撲滅についての功績も大きいですが、その一方で隔離政策を推し進めた中心人物でもあって、近年その陰の部分も功績とともにクローズアップされ、広く知られるようになっている（60代）
②⑥ 高田馬治（たかたうまじ） （1882～1968）	教育者・郷土史家。岡山県立高松農業高校の初代校長。旧高松町名誉町民	
②⑦ 田中文男（たなかふみお） （1883～1963）	耳鼻咽喉学会の世界的権威であり、岡山医科大学（現岡山大学医学部）の教授、学長として医学養育に貢献した 出典：岡山市ホームページ『岡山市名誉市民について』	
②⑧ 大賀一郎（おおがいちろう） （1883～1965）	植物学者。約2千年前のハスの実を発掘、発芽・開花させ、『大賀ハス』の名を得た 出典：国立国会図書館ホームページ	大賀ハスの発芽は、南極の古代ウイルスが動き出したときくらいインパクトがありました（中学3年生）
②⑨ 三宅精一（みやけせいいち） （1926～1982）	点字ブロックの発明者。岡山盲学校近くの国道に点字ブロックを敷設した 出典：あつ晴れ岡山人（第25回国民文化祭岡山県実行委員会発刊）	友人のために考案したとされる点字ブロックが、今では世界中に広がっています。福祉の礎を築いた人たちが岡山の人だったということは、とても誇らしく、とても嬉しく、もっと多くの人に知ってほしい（40代） 私も人のために行動できるような人になりたいと思いました（小学5年生）

【文学・文化・芸術・芸能分野の偉人】

偉人名	人物紹介	偉人への思い（自由記述の一部抜粋）
⑩尾上松之助（おのえまつのおすけ） （1875～1921）	日本最初の映画俳優。千本を超える作品に出演し、『目玉の松ちゃん』の愛称で親しまれた 出典：あつ晴れ岡山人（第25回国民文化祭岡山県実行委員会発刊）	1,000本の映画に出た日本最初のスター（50代）
⑪木下利玄（きのしたりげん） （1886～1925）	歌人。短歌によって、利玄調とよばれる独特の歌風を生み出した 出典：兵庫県立美術館ホームページ	たくさんの人を助けた木下利玄に憧れる（小学6年生）
⑫内田百閒（うちだひゃっけん） （1889～1971）	文筆家。『百鬼園随筆』『阿房列車』などを刊行 出典：あつ晴れ岡山人（第25回国民文化祭岡山県実行委員会発刊）	人間らしさのあふれるこんな先生がいたら良いな（小学6年生）
⑬国吉康雄（くによしやすお） （1889～1953）	画家。アメリカ画壇での指導的作家としての地位を築いた 出典：あつ晴れ岡山人（第25回国民文化祭岡山県実行委員会発刊）	絵画は大好きです（小学5年生） もっとたくさんの方に国吉康雄に親しんでほしい（30代）
⑭坪田譲治（つばたじょうじ） （1890～1982）	児童文学作家。近代日本児童文学振興の功労者であり、『風の中の子供』『子供の四季』『善太と三平』等数多くの名作を残した 出典：あつ晴れ岡山人（第25回国民文化祭岡山県実行委員会発刊） ／岡山市ホームページ『岡山市名誉市民について』	最もゆかりのある人なので、尊敬する人の一人です（小学6年生） 作品には岡山愛があふれており、岡山のよさを再確認することができた（70代）
⑮吉行あぐり（よしゆきあぐり） （1907～2015）	美容家・エッセイスト。朝の連続テレビ小説『あぐり』のモデルとなった	朝ドラ（連続テレビ小説）を見て知りました（小学5年生） 90歳を過ぎても現役美容師として働き続ける生き様は、当時同じく働きながら子育てをした私自身の大きな励みになりました（30代）

【文学・文化・芸術・芸能分野の偉人（つづき）】

偉人名	人物紹介	偉人への思い（自由記述の一部抜粋）
⑳ 吉行淳之介（よしゆきじゅんのすけ） （1924～1994）	作家。『驟雨』で芥川賞受賞。対談やエッセイの名手としても知られた 出典：あつ晴れ岡山人（第25回国民文化祭岡山県実行委員会発刊）	
㉑ 時実新子（ときざねしんこ） （1929～2007）	川柳作家・エッセイスト。女性作家の先駆者として川柳史に一時代を築いた 出典：あつ晴れ岡山人（第25回国民文化祭岡山県実行委員会発刊）	
㉒ 森安なおや（もりやすなおや） （1934～1999）	漫画家。トキワ荘のメンバーの一人。岡山城築城四百年の1997年、戦前の岡山市を舞台にした『烏城物語』を出版した	

【スポーツ分野の偉人】

偉人名	人物紹介	偉人への思い（自由記述の一部抜粋）
㉓ 常ノ花寛市（つねのはなかんいち） （1896～1960）	力士。第31代横綱。日本相撲協会理事長も務めた	
㉔ 人見絹枝（ひとみきぬえ） （1907～1931）	陸上競技選手。1928年オリンピック、アムステルダム大会で銀メダルを獲得した 出典：あつ晴れ岡山人（第25回国民文化祭岡山県実行委員会発刊）	日本中の女性に希望を与えたすごい人だと思う（中学1年生） 朝ドラ（連続テレビ小説）の主人公になって欲しいくらい、岡山県民女性の誇りです（50代）
㉕ 木原光知子（きはらみちこ） （1948～2007）	水泳選手・タレント。東京オリンピックに出場し、4位入賞を果たした	

2-8. 例示41人以外で偉人と思われる人物

※生存者及び個人を特定できない人物を除く

(例示41人以外で)岡山市にゆかりのある偉人と思われる人がいればご記入ください。

(自由回答 / 【小中学生】質問3 / 【一般】質問5)

【1700年以降に亡くなった岡山市ゆかりの人物】

偉人名	回答件数		生年	没年	岡山市とのゆかり
	小中学生	一般			
津田永忠	70	9	1640	1707	岡山藩士。池田光政・綱政のもとで、閑谷学校の設立、百間川の開さく、沖新田の開発、後楽園の普請、曹源寺の造営などを行った 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
竹久夢二	24	5	1884	1934	岡山県邑久郡邑久町（現瀬戸内市）出身の画家。叙情的な画風を形成し、「夢二式美人画」様式を確立 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
池田綱政	19	0	1638	1714	岡山藩第2代藩主。百間川・後楽園を築くとともに、新田開発、文化事業の両面で多くの治績を残した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
三木行治	2	11	1903	1964	岡山市畑鮎出身の医師・岡山県知事。「私なき献身」をモットーに県政を推進した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
岩崎利兵衛	1	9	1772	1844	興除新田の内尾村内地主として興除新田の開発に努力した 出典：興除村史
矢野恒太	1	9	1865	1951	岡山市角山出身の実業家で、第一生命保険を設立。私財を投じて現三徳園を創設した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
渡辺和子	0	9	1927	2016	ノートルダム清心女子大学学長・同学園理事長。著書は『置かれた場所で咲きなさい』など多数
寂庵	8	0	1702	1771	岡山市足守出身の学僧・書家。サンスクリットに造詣が深く、『東に慈雲、西に寂庵あり』といわれた 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
アリス・ペター・アダムス	5	3	1866	1937	アメリカ出身の宣教師・社会事業家。岡山博愛会病院などを開設し、貧民の子弟教育・施薬事業に力を尽くした 参考文献：岡山県大百科事典（山陽新聞社発刊）
永瀬清子	2	5	1906	1995	岡山県赤磐市出身の詩人。後年岡山市在住
楠本イネ	0	6	1827	1903	産科医。父は長崎のオランダ商館医師シーボルト。父の門人で岡山市表町で開業していた石井宗謙のもとで産科を学んだ 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
遠藤春太郎	6	0	1837	1945	「ぶどうの里」古都を築き上げた 出典：岡山市電子町内会ホームページ／古都村史
内田吐夢	1	4	1898	1970	岡山市天瀬出身の映画監督。『宮本武蔵』5部、『飢餓海峡』など日本映画史に不滅の巨匠 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
高畑勲	1	4	1935	2018	アニメーション映画監督であり、スタジオジブリの設立に参加。9歳で岡山空襲を体験した 出典：岡山市ホームページ

【1700年以降に亡くなった岡山市ゆかりの人物（つづき）】

偉人名	回答件数		生年	没年	岡山市とのゆかり
	小中学生	一般			
坂野鉄次郎	0	5	1873	1952	岡山市菅野出身の逓信官僚・実業家・政治家。「郵便の父」といわれた 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）／岡山県大百科事典（山陽新聞社発刊）
黒住宗忠	0	4	1780	1850	岡山市上中野出身の黒住教教祖 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
石津謙介	0	4	1911	2005	岡山市京橋南町出身のファッションデザイナー。「VAN」ブランドで送り出したアメリカ学生のファッション「アイビールック」は、ライフスタイルや思想にまで大きな改革をもたらす社会現象となった 出典：岡山県立図書館ホームページ
池田隆政	0	4	1926	2012	旧岡山藩主池田家第16代当主。昭和天皇の四女・厚子内親王の夫で、池田動物園園長などを務めた
岸信介	3	0	1896	1987	山口市出身の政治家。岡山県内山下尋常小学校6年に編入し、岡山県立岡山中学校（現岡山朝日高等学校）入学。内閣総理大臣などを務めた 出典：山口県田布施町ホームページ
宇垣纏	2	1	1890	1945	岡山市瀬戸町出身の海軍中将。山本五十六連合艦隊司令長官のもとで、真珠湾攻撃などを計画立案した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
福武一二	2	1	1901	1962	岡山市大井出身。岡山駅前に岡山松竹座を創設したのをはじめ、数多くの映画館を経営し、県下最大の映画興行主となる 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
岡崎嘉平太	2	1	1897	1989	実業家・日中国交回復の功労者。戦前の岡山中学校・第一高等学校卒業。全日本空輸社長などに就任 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
伊原木茂兵衛	1	2	1797	1862	岡山市西大寺出身の天満屋創業者 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
木下唯助	1	2	1901	1962	興行者。木下サーカスを創設。国際親善の民間使節として海外公演を行うなど同サーカスを世界的なものとした 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
住宅顕信	1	2	1961	1987	岡山市出身の俳人。1980年岡山市に臨時採用された。白血病のため入院し、病室で句作をはじめた。没後、知人らの尽力により第二句集「未完成」などが刊行された 出典：国立国会図書館ホームページ
川崎祐宣	1	2	1904	1996	鹿児島県出身。川崎病院・社会福祉法人旭川荘を設立、川崎医科大学を開学した
梶谷忠二	1	2	1900	2006	岡山市紙屋町出身の実業家。新西大寺町に木村屋製パン所を設立し、岡山木村屋の代表取締役などになり、県下製パン業界にあって不動の地位を築いた 参考文献：岡山県大百科事典（山陽新聞社発刊）、閩閩学ホームページ
長野士郎	1	2	1917	2006	岡山県知事。岡山空港建設など今日の岡山県の基盤整備に尽力

【1700年以降に亡くなった岡山市ゆかりの人物（つづき）】

偉人名	回答件数		生年	没年	岡山市とのゆかり
	小中学生	一般			
平賀元義	0	3	1800	1865	岡山市富田町出身の歌人・国学者。古学研究に励み、備前・備中・美作の歴史・地理・神事などの調査研究に専念した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
福田英子	0	3	1865	1927	岡山市野田屋町出身の婦人解放運動家・自由民権運動家
江田三郎	0	3	1907	1977	岡山市建部町出身の政治家。社会党書記長などを歴任した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
池田継政	2	0	1702	1776	岡山藩第3代藩主。善政をしき、全国的に百姓一揆が激発した享保～明和年間にも民心をよく掌握し、治安を維持した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
藤井較一	2	0	1858	1926	岡山県赤坂郡坂部村（現赤磐市）出身。岡山藩家老・池田隼人に出仕する父に従い、内山下に移住。私立学校・遺芳館で学ぶ 岡山県出身ではただ1人の海軍大将 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
ベル・串田	2	0	1913	1994	岡山市金田出身の洋画家。二科展において活躍した。岡山市東区神崎町に「ベル・串田記念館」が設立された 出典：岡山市ホームページ
伊木忠澄	1	1	1818	1886	岡山藩家老・茶人。版籍奉還により岡山県大参事となったが、廃藩置県とともに官を辞し、茶の湯三昧の風流生活に入った 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
夏目漱石	1	1	1867	1916	東京都新宿区出身の作家。帝国大学（現東京大学）の夏休みに岡山市金田を訪れ、訪れた場所が「漱石ロード」と呼ばれるようになった
日置忠尚（帯刀）	1	1	1829	1918	岡山藩家老。金川村（現岡山市北区御津金川）に知行所のあった岡山藩家老・日置忠粥の養子となり、相続し仕置家老となる。「神戸事件」で謹慎を命ぜられた 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
片山義雄	1	1	1918	1941	岡山市御津出身。ハワイ真珠湾内に突入した特別攻撃隊の特殊潜航艇に乗り込み、戦死した。真珠湾9軍神の一人 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
安井誠一郎	1	1	1891	1962	岡山市伊島村出身で、公選制導入後の初代東京都知事などを務めた政治家。現在の津島新野にあった旧安井家は、1981年岡山市が譲り受け、津島公館として活用された 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
秋田貞夫	1	1	1909	1996	岡山市出身の出版経営者。秋田書店を設立した
秋山登	1	1	1934	2000	岡山東高校（現岡山東商業）出身のプロ野球投手・監督。大洋初の日本一に貢献した
浦上玉堂	0	2	1745	1820	江戸時代後期の文人。岡山城下天神山で鴨方藩士の子として生まれる。若年から詩文・弹琴に親しみ、儒学や琴を学んだ 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）

【1700年以降に亡くなった岡山市ゆかりの人物（つづき）】

偉人名	回答件数		生年	没年	岡山市とのゆかり
	小中学生	一般			
浦上春琴	0	2	1779	1846	浦上玉堂の長男で、江戸時代末期の画人。詩・書・画に秀で、高く評価された 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
石坂桑亀	0	2	1788	1851	岡山県久米郡中央町出身の漢蘭折衷医。岡山市建部町福渡で開業した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
正阿弥勝義	0	2	1832	1908	岡山県津山市出身の彫金師。池田利隆に招かれて岡山に来て、代々藩主用命の金工として刀装具の彫製に従事した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
尾坂金次郎	2	0	1876	1949	岡山市出身。庄内川の治水に尽力した 出典：岡山市電子町内会ホームページ／古都村史
坂田一男	0	2	1889	1956	岡山市船頭町出身の洋画家 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
有本芳水	0	2	1886	1976	兵庫県姫路市出身の詩人。岡山市に移居し、関西中学校に入学。在学中から詩作し、上京・妻の郷里上道へ疎開後、晩年まで岡山大学などで文学論を講じた 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
福武哲彦	0	2	1916	1986	岡山市日近出身の教育文化事業家。南方に福武書店を創立した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
江草安彦	0	2	1926	2015	岡山県笠岡市出身の医師。社会福祉法人旭川荘理事長などに就任
片山虎之助	0	2	1935	2025	岡山県笠岡市出身の政治家。岡山朝日高等学校卒業。岡山県副知事、総務大臣などを務めた
犬飼明子	0	2	不明	2016	吉備小学校体育館2階に私設の「プーさん図書館」を開設し、自身が集めた絵本・児童書約5千冊で本の読み聞かせ・貸し出しをした 出典：岡山県立図書館ホームページ
関一楽	1	0	1644	1730	儒者。備前岡山の医師
戸田旭山	1	0	1696	1769	岡山市出身の医師 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
土倉正彦（一享）	1	0	1849	1874	備前岡山藩の家老。岡山藩大参事を務めた
池田長常	1	0	1820	1876	岡山藩家老。片桐池田家

【1700年以降に亡くなった岡山市ゆかりの人物（つづき）】

偉人名	回答件数		生年	没年	岡山市とのゆかり
	小中学生	一般			
池田博愛	1	0	1852	1927	岡山藩池田家家老を世襲した建部池田家の第14代当主
土肥原賢二	1	0	1883	1948	岡山市田町出身の陸軍大将 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
二宮治重	1	0	1879	1945	岡山市御津出身の陸軍中将・文部大臣。陸軍大臣宇垣を首班とする軍事政権樹立を目指すクーデター計画「3月事件」の首謀者の一人となった 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
橋本欣五郎	1	0	1890	1957	岡山市で生まれた陸軍軍人・政治家
岡本太郎	1	0	1911	1996	神奈川県川崎市出身の芸術家。1972年の新幹線岡山駅開業を記念して、陶板レリーフ「躍進」を製作
井奥行彦	1	0	1930	2019	福岡県福岡市出身の詩人。岡山県立第一岡山中学校（現朝日高校）・岡山大学教育学部卒業。小学校・高等学校で教職勤務
湯浅常山	0	1	1708	1781	岡山城下天瀬出身の岡山藩士・漢学者 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
浦上秋琴	0	1	1785	1871	岡山市出身の琴士。浦上玉堂の次男で、幼少のころから父に画技を習い、弾琴でも優れた才能を示した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
安富才助	0	1	1839	1873	備中足守藩出身。新選組隊士
大西祝	0	1	1864	1900	岡山市田町出身の哲学者 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
大森熊太郎	0	1	1851	1902	岡山市栢谷出身の果樹園芸家。山内善男とともに、岡山県に初めてブドウを導入し、ガラス室1棟を建設するなど、我が国への欧米系ブドウ導入初期において、技術開発・普及に貢献した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
池田章政	0	1	1836	1903	岡山藩第10代藩主。版籍奉還により岡山知藩事となった 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
吉永祐介	0	1	1932	2013	岡山市出身の検察官、弁護士。ロッキード事件の主任検事、検事総長などを務めた
中川横太郎	0	1	1836	1903	岡山市番町出身の実業家・教育事業家。岡山薬学校（現関西高校）創設にあたり、指導的な役割を果たし校主となった 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）

【1700年以降に亡くなった岡山市ゆかりの人物（つづき）】

偉人名	回答件数		生年	没年	岡山市とのゆかり
	小中学生	一般			
西毅一	0	1	1843	1904	岡山市出身の教育者・衆議院議員 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
山内善男	0	1	1844	1920	岡山市栢谷出身の果樹園芸家。大森熊太郎とともに、岡山県に初めてブドウを導入し、ガラス室1棟を建設するなど、我が国への欧米系ブドウ導入初期において、技術開発・普及に貢献した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
千輪性海	0	1	1858	1912	岡山市清輝橋出身の社会福祉事業家・僧侶。岡山感化院を創設 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
逸見東洋	0	1	1846	1920	岡山市表町二丁目出身の工芸家。生家の裏に鍛冶場を設け鍛刀を始め、豊かな才能を開花させ、20代早くも「明治正宗」の異名をとり、全国にその名をとどろかせた 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
山本唯三郎	0	1	1873	1927	岡山市建部町出身の実業家。船舶業で「船成金」となった。岡山市に図書館を寄付した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
児島虎次郎	0	1	1881	1929	岡山県成羽町出身の洋画家。石井十次が院長を務める岡山孤児院に起居しながら、病気の院児を見舞い慰める看護の保母や院児の情景を描いた「情の庭」などを勸業博覧会に出品した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
林源十郎	0	1	1865	1935	岡山県倉敷市出身の実業家・社会事業家。薬種商の家業以外にも石井十次と親交を結び、岡山孤児院に薬を寄付するなど尽力した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
三木静次郎	0	1	1893	1936	岡山市神下出身の部落解放運動の指導者。岡山県水平社を創立した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
波多野華涯	0	1	1863	1944	大阪生まれ。1919年頃に岡山へ転居し、画業に邁進し、画塾「有香社」を主宰 出典：岡山県立美術館ホームページ
坪田利吉	0	1	1870	1944	広島県府中町出身の社会事業家。岡山市で行商を始め、無料宿泊所の建設、西川への万納橋の架橋、京橋西詰での火の見櫓の寄付など、多くの公共事業に余生をささげた 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
野中五郎	0	1	1910	1945	岡山市出身の海軍軍人
高橋秋華	0	1	1877	1952	岡山市東幸西出身の日本画家 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
エドワード・ガントレット	0	1	1868	1956	イギリス出身。第六高等学校などで英語などを教えた。また、エスペラント（人工国際語）普及にもつとめた 出典：岡山県立図書館ホームページ
伊原木悟朗（吾郎）	0	1	1909	1960	長野県飯田市出身。天満屋第4代社長。岡山財界の重鎮として活躍した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）

【1700年以降に亡くなった岡山市ゆかりの人物（つづき）】

偉人名	回答件数		生年	没年	岡山市とのゆかり
	小中学生	一般			
薬師寺主計	0	1	1884	1965	岡山県総社市出身の洋風建築家。作品中の最高傑作といわれる「岡山市公会堂」などがある 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
杉山千代	0	1	1887	1969	岡山県中央町出身の教育者・随筆家。就実高等女学校に勤め多くの生徒に慕われた 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
松本学	0	1	1886	1974	岡山市石関町出身の内務官僚・政治家。貴族院議員などを務めた 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
岡長平	0	1	1890	1970	岡山市京橋町出身の郷土史家。岡山市会議員などを務めた 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
林道倫	0	1	1885	1973	宮城県仙台市出身の医学者。岡山大学初代学長 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
奥山典雄	0	1	1928	1978	岡山市西大寺出身の障害児教育者。精神薄弱児施設「ももぞの福祉園」を開設した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
星島二郎	0	1	1887	1980	岡山県倉敷市出身の政治家。岡山中学校・第六高等学校卒業。六校時代にキリスト教徒で岡山孤児院創設者の石井十次に私淑した。衆議院議長などを務めた 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
九津見房子	0	1	1890	1980	岡山市弓之町出身の婦人運動家 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
平木潔	0	1	1910	1981	岡山市下中野出身。内科学の各分野で多大の業績を挙げ、日本血液学会をはじめ数々の学会長を歴任した。岡山大学医学部付属病院長なども務めた 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
石川達三	0	1	1905	1985	秋田県横手市出身の小説家。中学4年のとき父の転任で関西中学校（現関西高校）に転入。「蒼氓」で第1回芥川賞を受賞した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
大杉勝男	0	1	1945	1992	岡山県奈義町出身のプロ野球選手・コーチ。関西高等学校卒業後、東映・ヤクルトなど両リーグでの1000本安打達成者 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
山内逸郎	0	1	1923	1993	岡山市丸の内出身の医師。国立岡山病院院長・名誉院長。わが国未熟児医療のパイオニアといわれた 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
松本一	0	1	1915	1998	第27・28代岡山市長
松田基	0	1	1921	1998	両備グループ元代表。夢二郷土美術館の創設者で初代館長

【1700年以降に亡くなった岡山市ゆかりの人物（つづき）】

偉人名	回答件数		生年	没年	岡山市とのゆかり
	小中学生	一般			
緑川洋一	0	1	1915	2001	岡山県邑久郡出身の写真家。岡山市内で歯科医院を開業
稲田浩二	0	1	1925	2008	岡山市生まれ。京都女子大学名誉教授
小野桂華	0	1	不明	2010	岡山市西大寺出身の書家。2004年度岡山市有功表彰受賞者 出典：岡山市ホームページ
安宅敬祐	0	1	1942	2020	第29・30代岡山市長
岸本綾夫	1	0	1879	不明	岡山市番町出身の陸軍大将。第19代東京市長を務めた 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
炭谷小梅	0	1	1850	不明	岡山市野田屋町出身。女性の自立を支援した。石井十次と親交を結び、陰で岡山孤児院を支えた

【1699年以前に亡くなった岡山市ゆかりの人物】

偉人名	回答件数		生年	没年	岡山市とのゆかり
	小中学生	一般			
宇喜多秀家	88	2	1573	1655	桃山時代の岡山城主。岡山城の大改築に着手、旭川の改修や城下町の建設など、後の岡山発展の基礎を築いた 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
宇喜多直家	43	3	1529	1581	安土・桃山時代の備前国の武将で、岡山城主。備前・美作両国および播磨の一部を領有する有力大名に成長した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
池田光政	35	1	1609	1682	初代岡山藩主。池田利隆の長男として岡山に生まれる。熊沢蕃山を重用し、閑谷学校などを新設して庶民教育に当たらせた 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
清水宗治	14	0	1537	1582	岡山市高松の備中高松城主。羽柴秀吉による「高松城水攻め」に遭い、自害した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）
市川喜左衛門	9	0	1533	1597	岡山市芳賀出身。日本最初のキリシタン殉教者である長崎26聖人の一人といわれている 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発刊）

【1699年以前に亡くなった岡山市ゆかりの人物（つづき）】

偉人名	回答件数		生年	没年	岡山市とのゆかり
	小中学生	一般			
栄西	7	2	1141	1215	岡山市吉備津出身の平安末期～鎌倉初期の高僧・日本臨済宗の開祖 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
小早川秀秋	8	0	1582	1602	安土・桃山時代の大名・岡山城主 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
熊沢蕃山	3	3	1619	1691	岡山藩番頭・陽明学者・岡山藩の承応・明暦の改革の中心人物。岡山藩主池田光政に仕官した 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
黒田孝高（官兵衛）	3	0	1546	1604	近世初期の武将。羽柴秀吉の軍師として備中高松城水攻め、その後の講和交渉にも当たった 参考文献：岡山県大百科事典（山陽新聞社発行）
池田輝政	3	0	1564	1613	尾張国（現愛知県）清須出身の姫路藩主。関ヶ原合戦後、1603年二男忠継に備前国を賜い、長男利隆を岡山に在城させた 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
豪姫	2	0	1574	1634	岡山城主宇喜多秀家の妻 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
宇喜多忠家	1	1	1533	1609	安土・桃山時代の備前国の武将。宇喜多直家の異母弟。直家の覇業を助けて数多くの戦陣を踏み、直家が岡山城に入ると、西方の守りを固めるため富山城（現岡山市矢坂本町）に移り、備中境を守った 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
妹尾兼康	1	0	不明	1183	平安時代末期の備中国の武将。岡山市妹尾付近の開発領主で、平氏の有力な家人 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
宇喜多能家	1	0	不明	1534	戦国時代の備前国の武将。邑久町にある砥石城主。上道郡矢津峠や御津郡牧石川原で金川城主松田元勝勢を打ち破った 参考文献：岡山県歴史人物事典（山陽新聞社発行）
豊臣（羽柴）秀吉	1	0	1537	1598	安土桃山時代の武将。高松城を水攻めにし、毛利氏と講和することに成功した
毛利輝元	1	0	1553	1625	安土桃山時代の武将。備中高松城の水攻めで羽柴秀吉と講和した

【生没年が確認できない岡山市ゆかりの人物】

偉人名	回答件数		生年	没年	岡山市とのゆかり
	小中学生	一般			
河内屋治兵衛	14	0	不明	不明	大阪和泉の石細工職人。岡山藩津田永忠の片腕として、倉田新田・倉安川、吉備津彦の造営等、岡山の土木事業に貢献した
穴甘太郎兵衛	6	0	不明	不明	宇喜多家の家臣。八浜の戦闘に参加し、八浜の七本槍として称せられた 出典：古都村史
近藤甚吉	1	0	不明	不明	岡山市九幡に青のり卸売業の個人商店を設立した
忠阿上人	1	0	不明	不明	現在の西大寺会陽の形が成り立たと伝えられたときの住職 出典：岡山市会陽パンフレット
竹内道眞	0	1	不明	不明	岡山大学の精神医学研究者
池田愛	0	1	不明	不明	岡山市に「新天地育児院」を開設した

【岡山市とゆかりが確認できなかった人物】※文献と公式ホームページによる調べ

偉人名	回答件数	
	小中学生	一般
雪舟	110	0
宮本武蔵	35	0
山田方谷	7	5
星野仙一	6	2
橋本龍太郎	3	5
織田信長	7	0
大山康晴	5	0
吉備真備	4	0
福沢諭吉	3	0
留岡幸助	3	0
山室軍平	3	0
和気清麻呂	2	1
大原孫三郎	2	1
平沼騏一郎	2	1
藤原啓	2	1
空海	2	0
徳川家康	2	0

偉人名	回答件数	
	小中学生	一般
井伊直弼	2	0
野崎武左衛門	2	0
岸田吟香	2	0
渋沢栄一	2	0
仁科芳雄	1	1
柴田錬三郎	1	1
難波道子	1	1
安倍晴明	1	0
法然	1	0
足利義教	1	0
北条早雲	1	0
毛利元就	1	0
山中幸盛	1	0
明智光秀	1	0
森忠政	1	0
小堀遠州	1	0
木下長嘯子	1	0

偉人名	回答件数	
	小中学生	一般
松尾芭蕉	1	0
神崎与五郎	1	0
徳川綱吉	1	0
近松門左衛門	1	0
徳川吉宗	1	0
田沼意次	1	0
坂本天山	1	0
渡辺華山	1	0
宇田川榕菴	1	0
水野忠邦	1	0
池田政和	1	0
箕作阮甫	1	0
ジョン万次郎	1	0
田中正造	1	0
津田梅子	1	0
北里柴三郎	1	0
宮沢賢治	1	0

偉人名	回答件数	
	小中学生	一般
アンネ・フランク	1	0
マハトマ・ガンディー	1	0
永田茂	1	0
横溝正史	1	0
手塚治虫	1	0
藤井勝志	1	0
安倍晋三	1	0
門田博光	1	0
石井宗謙	0	1
熊田恰	0	1
土居通夫	0	1
大原總一郎	0	1
尾崎小太郎	0	1
丸山亜季	0	1
内田節子	0	1
守屋茂	0	1

【その他】

偉人名	回答件数		生年	没年	岡山市とのゆかり
	小中学生	一般			
桃太郎	13	1	不明	不明	五大おとぎ話の一つ。吉備津彦命による温羅と呼ばれた鬼を退治した伝説が語り継がれ、昔話桃太郎の原型になったとされる。岡山市ほか3市が『桃太郎伝説』の生まれたまち おかやま」で日本遺産の認定を受けた 出典：岡山市ホームページ
吉備津彦命	4	0	不明	不明	吉備津神社・吉備津彦神社の祭神となっており、古代、吉備諸豪族の始祖として崇められていた
おきた姫	1	0	不明	不明	沖田神社に氏神として祀られている

Ⅲ. 調査票

【小中学生】

(小学5・6年生、中学生)

偉人の顕彰に関するアンケート

※顕彰(けんしょう):功績(こうせき)などを一般に知らせ、表彰(ひょうしょう)すること

質問1 あなたの学年を選(えら)んでください。

小学5年生 小学6年生 中学1年生 中学2年生 中学3年生

質問2 岡山市に関係があるすごい人(偉人(いじん))を、下記のとおり例をあげて簡単な説明をつけて紹介しています。あなたの知っている人を選んでください。

※いくつでも選べます。知っている人がいなければ、選ばなくてもいいです。

政治・社会

瀧 善三郎(たき ぜんざぶろう)(1837~1868)

岡山藩(はん)の武士。フランス水兵との銃(じゅう)のうち合いになった『神戸事件』というできごとの責任をとって、命と引きかえに外国との問題をおさめました。

犬養 毅(いぬかい つよし)(1855~1932)

第29代内閣(ないかく)総理大臣。『五・一五事件』というできごとで、命を落としました。

宇垣 一成(うがき かずしげ)(1868~1956)

軍人・政治家。若くして先生になるための試験に合格後、10代で小学校の校長になり、その後、陸軍大臣になりました。

横山 昊太(よこやま こうた)(1889~1974)

政治家。20年の長きにわたり岡山市議会議員を務めた後、昭和26年岡山市長に就任し、戦後の復興と地方自治の振興(しんこう)に貢献(こうけん)しました。岡山市名誉(めいよ)市民です。

岡崎 平夫(おかざき ひらお)(1909~1993)

政治家。5期20年の長きにわたり、岡山市長として岡山市発展の基礎(きそ)を築き、地方自治の振興に貢献しました。岡山市名誉市民です。

江田 五月(えだ さつき)(1941~2021)

政治家。『参議院』という政治の場所で議長をしました。もともとは法律の仕事をして、自由な考え方を大事にした人です。

1

産業・社会開発

浮田 幸吉(うきた こうきち)(1757~1847?)

巻物などを作る表具師(ひょうぐし)。強度を持たせた翼(つばさ)を作り、旭川にかかる京橋の欄干(らんかん)から飛び、日本で初めて空を飛んだとされる人です。

藤田伝三郎(ふじた でんざぶろう)(1841~1912)

実業家。明治期に児島湾(こじまわん)の干拓(かんたく)事業を手がけ、干拓地としてつくられた村に『藤田』の地名がつけられました。

ローウェンホルスト・ムルデル(1848~1901)

オランダの土木技師。児島湾の干拓事業にかかわりました。

山羽 虎夫(やまば とらお)(1874~1957)

電気技師。日本初の国産自動車となる蒸気(じょうき)自動車をつくり、試運転をしました。

谷口 久吉(たにぐち ひさきち)(1889~1968)

実業家。山陽新聞社社長、山陽放送社長として第二次世界大戦後の荒廃(こうはい)した社会の浄化(じょうか)と新しい地方文化の育成に貢献しました。岡山市名誉市民です。

守分 十(もりわけ ひさし)(1890~1977)

銀行家。中国銀行頭取(とうどり)、岡山県経済団体連合会会長として、第二次世界大戦後の荒廃(こうはい)した産業経済の復興・発展に尽力(じんりょく)しました。岡山市名誉市民です。

松田 壮三郎(まつだ そうざぶろう)(1895~1991)

実業家。岡備バス社長、西大寺商工会議所会頭(かいとう)として地方産業の振興に尽力(じんりょく)するとともに、岡山県議会議員として県政に参画し、地方自治の発展に貢献しました。岡山市名誉市民です。

土光 敏夫(どこう としお)(1896~1988)

実業家。経済・産業関係の要職を歴任し、とりわけ昭和49年第4代経済団体連合会会長に就任し、強烈(きょうれつ)なバイタリティ(生命力)と卓越(たくえつ)した識見(しきけん)をもって日本経済の発展に貢献しました。岡山市名誉市民です。

相賀 武夫(おうが たけお)(1897~1938)

小学館・集英社という本などをつくって売る会社を始めた人。日本の出版文化の基礎を築きました。

学問・教育・社会福祉

藤井 高尚(ふじい たかなお)(1764~1840)

国学者・歌人・神官。吉備津神社で宮司(ぐうじ)になりました。歌文の学問が得意で、国学(こくがく)を普及(ふきゅう)するため活躍(かつやく)しました。

2

□難波 抱節(なんば ほうせつ)(1791～1859)

医師。現在の北区御津金川に『忠誠堂』(しせいどう)という医学の塾(じゅく)を開くとともに、緒方洪庵から種痘法(しゅとうほう ワクチンによる治療の方法)を学び、『天然痘』(てんねんどう)という感染(かんせん)する病気から多くの子どもを救いました。

□緒方 洪庵(おがた こうあん)(1810～1863)

蘭学(らんがく)者・医師。大阪に医学を学ぶ『適塾』(てきじゅく)を開き、福沢諭吉(ふくざわゆきち)らを育てました。コレラ(伝染病)流行時には治療(ちりょう)法を広め、多くの人の命を救いました。

□江川 三郎八(えがわ さぶろうはち)(1860～1939)

建築(けんちく)技師。岡山を中心に洋風木造建築を数多く設計し、重要文化財の旧旭東(きょくとう)小学校附属(ふぞく)幼稚園園舎(八角園舎 はっかくえんしゃ)など、今も残る名建築を手がけました。

□矢部 辰三郎(やべ たつさぶろう)(1863～1924)

海軍軍医総監(かいぐんぐんいそうかん)。岡山大学医学部の前身の岡山県医学校を第一期生として卒業しました。翻訳(ほんやく)本を出版するなかで、日本で初めて「免疫(めんえき)」という言葉を使いました。

□石井 十次(いしい じゅうじ)(1865～1914)

岡山孤児(こじ)院の創設(そうせつ)者。児童福祉(じどうふくし)と教育の融合(ゆうごう)を実践(じっせん)し、『児童福祉の父』と呼ばれ、教育を通じて社会的に弱い人たちを支援しました。

□岸本 能武太(きしもと のぶた)(1866～1928)

宗教(しゅうきょう)学者。宗教社会学という学問の草分けの人となりました。

□藤井 静一(ふじい せいいち)(1870～1952)

社会運動家。社会福祉事業に生涯(しょうがい)をささげ、地域の身近相談相手である現在の民生委員制度の生みの親の一人となった人です。

□上代 淑(かじろ よし)(1871～1959)

教育者。山陽高等女学校、山陽女子高等学校校長として、草創期(そうそうき)の日本女子教育並びに私学振興に大きな業績を残しました。岡山市名誉市民です。

□光田 健輔(みつた けんすけ)(1876～1964)

医師。長島愛生園の園長を81歳の高齢(こうれい)で退(しりぞ)くまで救らい事業(ハンセン病(『らい菌(きん)』という細菌が原因の慢性(まんせい)感染症)の救護(きゅうご)と治療(ちりょう)などを目的とする仕事)に献身し、全国数十万人の患者(かんじゃ)から慈父(じふ:子に対し深い愛情をもつ父)と慕(した)われました。岡山市名誉市民です。

□高田 馬治(たかた うまじ)(1882～1968)

教育者・郷土史家(きょうどしか)。岡山県立高松農業高校の初代校長です。郷土史研究の分野でも活躍しました。岡山市に合併(がっぺい)する前の旧高松町名誉市民です。

□田中 文男(たなか ふみお)(1883～1963)

医師。耳鼻咽喉(じびいんこう)学会の世界的権威(けんい)であり、岡山医科大学(現岡山大学医学部)の教授、学長として医学養育に貢献しました。岡山市名誉市民です。

□大賀 一郎(おおが いちろう)(1883～1965)

植物学者。縄文(じょうもん)時代のハスの種子を発芽させた(『大賀ハス』と名付けられました)ことで世界的に注目されました。

□三宅 精一(みやけ せいいち)(1926～1982)

社会事業家・発明家。点字ブロックの考案者です。岡山県立岡山盲学校(もうがっこう)近くの国道に自分のお金で点字ブロックを設置しました。

文学・文化・芸術・芸能

□尾上 松之助(おのえ まつのすけ)(1875～1926)

歌舞伎(かぶき)役者・映画俳優(えいがはいゆう)・映画監督(かんとく)。1,000本以上の映画に出演し、日本映画草創(そうそう)期に活躍(かつやく)した映画スターです。『目玉の松ちゃん』の愛称(あいしょう)で親しまれました。

□木下 利玄(きのした りげん)(1886～1925)

足守藩最後の藩主を養父に持つ歌人。短歌革新(かくしん)運動に取り組み、白樺派(しらかばは)の中心作家として活躍しました。

□内田 百閒(うちだ ひゃっけん)(1889～1971)

小説家。鉄道エッセイ『阿房列車』(あほうれっしゃ)などちょっと不思議でおもしろいお話を書き、有名になりました。ペンネームは岡山市を流れる百閒川(ひゃっけんがわ)に由来しています。

□国吉 康雄(くによし やすお)(1889～1953)

洋画家。アメリカで活躍し、「現代アメリカのもっともすぐれた10人の画家」の一人として選ばれました。

□坪田 謙治(つばた じょうじ)(1890～1982)

児童文学作家。近代日本児童文学振興の功労(こうろう)者であり、『風の中の子供』(川子の四季)『善太と三平』等数多くの名作を残しました。1984年岡山市により『坪田謙治文学賞』ができました。岡山市名誉市民です。

□吉行 あぐり(よしゆき あぐり)(1907～2015)

美容師。小説家・吉行淳之介(じゅんのすけ)、女優(じょゆう)・吉行和子(かずこ)、小説家・吉行理恵(りえ)は、あぐりの子どもです。1997年上期のNHK連続テレビ小説『あぐり』のモデルとなりました。

□吉行 淳之介(よしゆき じゅんのすけ)(1924～1994)

小説家。『驟雨』(しゅうう)で芥川賞(あくたがわしょう)を受賞しました。多くの文学賞の選考委員をしました。

□時実 新子(ときざね しんこ)(1929～2007)

川柳(せんりゅう)作家・随筆(ずいひつ)家。女性の情念を鮮烈(せんれつ)に表現したものが多く、川柳界に新しい風を吹(ふ)き込みました。

□森安 なおや(もりやす なおや)(1934～1999)

漫画(まんが)家。トキワ荘(そう)(手塚治虫(てづかおさむ)をはじめとした漫画家が住み集(つど)い、若き青春の日々を過ごした伝説(でんせつ)のアパート)の居住者の一人としても知られています。作品の多くは『漫画少年』などの雑誌や貸本屋向けの書き下ろし単行本に掲載(けいさい)されました。

スポーツ

□常ノ花 寛市(つねのはな かんいち)(1896～1960)

大相撲(おおずもう)力士で、第31代横綱(よこづな)。旧内山下小学校出身。日本相撲協会のリーダーとして、終戦直後の東京で大相撲復興の基礎を築きました。

□人見 絹枝(ひとみ きぬえ)(1907～1931)

陸上競技選手。日本人女性初のオリンピックメダリスト(1928年アムステルダム大会)。陸上競技で世界記録を樹立(じゅりつ)した女性スポーツの先駆者(せんくしや)です。

□木原 光知子(きはら みちこ)(1948～2007)

水泳選手・タレント・実業家。1964年の東京オリンピックに出場し、400mリレーで4位に入賞しました。引退後は日本水泳連盟(れんめい)初の女性理事をするなど、多方面で活躍しました。

質問3 質問2以外で、岡山市にゆかりのある偉人と思われる人がいればご記入ください。ただし、時代は江戸中期(1700年ごろ)以降で、すでに亡(な)くなっている人とはします。

質問4 質問2・質問3で選んだ人または記入した人への思いがあればご記入ください。(選んだすべての人について記入しなくてもかまいません。)

質問5 質問2で紹介(しょうかい)したような岡山市ゆかりの偉人を展示する企画展(きかくてん)などがあれば行ってみたいですか。

行きたい 行かない わからない

質問6 岡山市ゆかりの偉人を顕彰(けんしょう)(功績(こうせき)などを一般に知らせ、表彰(ひょうしょう)すること)する必要があると思いますか。

思う 思わない わからない

(一般：高校生以上)

偉人の顕彰に関するアンケート

※顕彰：功績などを一般に知らせ、表彰すること

質問1 (年代)あなたに合うものを選んでください。

- 10代 20代 30代 40代 50代
60代 70代 80代 90代～

質問2 (職業)あなたに合うものを選んでください。

- 高校生 大学生(大学院・短大・専門学校生を含む。)
働いている人 無職

質問3 あなたのお住まいはどこですか。

- 岡山市内 岡山県内(岡山市を除く) 岡山県外

質問4 岡山市にゆかりのある偉人を、下記のとおり例をあげて紹介しています。

あなたの知っている人を選んでください。

※いくつでも選べます。知っている人がいなければ、選ばなくてもいいです。

政治・社会

- 瀧 善三郎(たき ぜんざぶろう)(1837～1868)
岡山藩の武士。フランス水兵との銃撃戦になった『神戸事件』の責任を一身に背負い、自らの切腹により命と引き換えに明治新政府初の外交問題が解決された。
- 犬養 毅(いぬかい つよし)(1855～1932)
政治家。第29代内閣総理大臣。『五・一五事件』で暗殺された。
- 宇垣 一成(うがき かずしげ)(1868～1956)
軍人・政治家。若くして教員採用試験に合格後、10代で小学校校長就任。その後陸軍大臣を務めた。
- 横山 呉太(よこやま こうた)(1889～1974)
政治家。20年の長きにわたり岡山市議会議員を務めた後、昭和26年岡山市長に就任し、戦後の復興と地方自治の振興に貢献した。岡山市名誉市民。

- 岡崎 平夫(おかざき ひらお)(1909～1993)

政治家。5期20年の長きにわたり、岡山市長として岡山市発展の基礎を築き、地方自治の振興に貢献した。岡山市名誉市民。

- 江田 五月(えだ さつき)(1941～2021)

参議院議長を務めた政治家。法曹界出身で、リベラルな立場から活躍した。

産業・社会開発

- 浮田 幸吉(うきた こうきち)(1757～1847?)

表具師。強度を持たせた翼を製作。旭川にかかる京橋の欄干から飛び、日本で初めて空を飛んだとされる人物。

- 藤田伝三郎(ふじた でんざぶろう)(1841～1912)

実業家。明治期に児島湾の干拓事業を手がけ、干拓地として造られた村に『藤田』の地名がつけられた。

- ローウェンホルスト・ムルデル(1848～1901)

オランダの土木技師。児島湾の干拓事業にかかわった。

- 山羽 虎夫(やまば とらお)(1874～1957)

電気技師。日本初の国産自動車となる蒸気自動車を製造し、試運転を行った。

- 谷口 久吉(たにくち ひさきち)(1889～1968)

実業家。山陽新聞社社長、山陽放送社長として第二次世界大戦後の荒廃した社会の浄化と新しい地方文化の育成に貢献した。岡山市名誉市民。

- 守分 十(もりわけ ひさし)(1890～1977)

銀行家。中国銀行頭取、岡山県経済団体連合会会長として、第二次世界大戦後の荒廃した産業経済の復興・発展に尽力した。岡山市名誉市民。

- 松田 壮三郎(まつだ そうざぶろう)(1895～1991)

実業家。両備バス社長、西大寺商工会議所会頭として地方産業の振興に尽力するとともに、岡山県議会議員として県政に参画し、地方自治の発展に貢献した。岡山市名誉市民。

- 土光 敏夫(どこう としお)(1896～1988)

実業家。経済・産業関係の要職を歴任し、とりわけ昭和49年第4代経済団体連合会会長に就任し、強烈なバイタリティと卓越した識見をもって日本経済の発展に貢献した。岡山市名誉市民。

- 相賀 武夫(おうが たけお)(1897～1938)

小学館・集英社の創業者。日本の出版文化の礎を築いた。

学問・教育・社会福祉

- 藤井 高尚(ふじい たかなお)(1764～1840)
国学者・歌人・神官。吉備津神社の宮司。歌文の学に長じ、国学を普及するため活躍した。
- 難波 抱節(なんば ほうせつ)(1791～1859)
医師。現在の北区御津金川に『思誠堂』という医学の塾を開くとともに、緒方洪庵から種痘法を学び、天然痘から多くの子どもを救った。
- 緒方 洪庵(おがた こうあん)(1810～1863)
蘭学者・医師。大阪に『適塾』を開き、福沢諭吉らを育成。コレラ流行時には治療法を広め、多くの命を救った。
- 江川 三郎八(えがわ さぶろうはち)(1860～1939)
建築技師。岡山を中心に洋風木造建築を数多く設計し、重要文化財の旧旭東小学校附属幼稚園園舎(八角園舎)など、今も残る名建築を手がけた。
- 矢部 辰三郎(やべ たつさぶろう)(1863～1924)
海軍軍医総監。岡山大学医学部の前身の岡山県医学校を第一期生として卒業。翻訳本を出版するなかで、日本で初めて「免疫」という言葉を使用した。
- 石井 十次(いしい じゅうじ)(1865～1914)
岡山孤児院の創設者。児童福祉と教育の融合を実践。『児童福祉の父』と呼ばれ、教育を通じて社会的弱者を支援。
- 岸本 能武太(きしもと のぶた)(1866～1928)
宗教学者。宗教社会学の草分け。
- 藤井 静一(ふじい せいいち)(1870～1952)
社会運動家。社会福祉事業に生涯をささげ、民生委員制度の創設に尽力した。
- 上代 淑(かじろ よし)(1871～1959)
教育者。山陽高等女学校、山陽女子高等学校校長として、草創期の日本女子教育並びに私学振興に大きな業績を残した。岡山市名誉市民。
- 光田 健輔(みつだ けんすけ)(1876～1964)
医師。長島愛生園の園長を81歳の高齢で退くまで救らい事業(ハンセン病の救護と治療などを目的とする仕事)に献身し、全国数十万人の患者から慈父と慕われました。岡山市名誉市民。
- 高田 馬治(たかた うまじ)(1882～1968)
教育者・郷土史家。岡山県立高松農業高校の初代校長。郷土史研究の分野でも活躍した。岡山市合併前の旧高松町名誉町民。
- 田中 文男(たなか ふみお)(1883～1963)
医師。耳鼻咽喉学会の世界的権威であり、岡山医科大学(現岡山大学医学部)の教授、学長として医学養育に貢献した。岡山市名誉市民。

- 大賀 一郎(おおが いちろう)(1883～1965)
植物学者。縄文時代のハスの種子を発芽させた(『大賀ハス』と名付けられた)ことで世界的に注目された。

- 三宅 精一(みやけ せいいち)(1926～1982)
社会事業家・発明家。点字ブロックの考案者。岡山県立岡山盲学校近くの国道に私費で点字ブロックを設置した。

文学・文化・芸術・芸能

- 尾上 松之助(おのえ まつのすけ)(1875～1926)
歌舞伎役者・映画俳優・映画監督。1,000本以上の映画に出演し、日本映画草創期に活躍した映画スター。『目玉の松ちゃん』の愛称で親しまれた。
- 木下 利玄(きのした りげん)(1886～1925)
足守藩最後の藩主を養父に持つ歌人。短歌革新運動に取り組み、白樺派の中心作家として活躍した。
- 内田 百閒(うちだ ひゃっけん)(1889～1971)
小説家。鉄道エッセイ『阿房列車』などちよつと不思議で面白い話を書き、有名になった。ペンネームは岡山市を流れる百間川に由来。
- 国吉 康雄(くによし やすお)(1889～1953)
洋画家。アメリカで活躍し、「現代アメリカの最も優れた10人の画家」の一人として選出された。
- 坪田 謙治(つぼた じょうじ)(1890～1982)
児童文学作家。近代日本児童文学振興の功労者であり、『風の中の子供』『子供の四季』『善太と三平』等数多くの名作を残した。1984年岡山市により『坪田謙治文学賞』が制定された。岡山市名誉市民。
- 吉行 あぐり(よしゆき あぐり)(1907～2015)
美容師。小説家・吉行淳之介、女優・吉行和子、小説家・吉行理恵はあぐりの子ども。1997年上期のNHK連続テレビ小説『あぐり』のモデルとなった。
- 吉行 淳之介(よしゆき じゅんのすけ)(1924～1994)
小説家。『驟雨』で芥川賞受賞。多くの文学賞の選考委員を務めた。
- 時実 新子(ときざね しんこ)(1929～2007)
川柳作家・随筆家。女性の信念を鮮烈に表現したものが多く、川柳界に新しい風を吹き込んだ。

森安 なおや(もりやす なおや) (1934~1999)

漫画家。トキワ荘(手塚治虫をはじめとした漫画家が住み集い、若き青春の日々を過ごした伝説のアパート)の居住者の一人としても知られる。作品の多くは『漫画少年』などの雑誌や貸本屋向けの書き下ろし単行本に掲載された。

スポーツ

常ノ花 寛市(つねのはな かんいち) (1896~1960)

大相撲力士で、第31代横綱。旧内山下小学校出身。日本相撲協会のリーダーとして、終戦直後の東京で大相撲復興の基礎を築いた。

人見 絹枝(ひとみ きぬえ) (1907~1931)

陸上競技選手。日本人女性初のオリンピックメダリスト(1928年アムステルダム大会)。陸上競技で世界記録を樹立した女性スポーツの先駆者。

木原 光知子(きはら みちこ) (1948~2007)

水泳選手・タレント・実業家。1964年の東京オリンピックに出場し、400mリレーで4位入賞。引退後は日本水泳連盟初の女性理事を務めるなど、多方面で活躍した。

質問5 質問4以外で、岡山市にゆかりのある偉人と思われる人がいればご記入ください。ただし、時代は江戸中期(1700年ごろ)以降で、すでに亡くなっている人としません。

質問6 質問4・質問5で選んだまたは記入した偉人への思いがあればご記入ください。

質問7 質問4で紹介したような岡山市ゆかりの偉人を展示する企画展などがあれば行ってみたいですか。

行きたい 行かない わからない

質問8 岡山市ゆかりの偉人を顕彰(功績などを一般に知らせ、表彰すること)する必要があると思いますか。

思う 思わない わからない